

御宿町議会報告会 報告会録

【日 時】：令和6年2月25日（日）午後1時30分から午後4時10分まで

【場 所】：御宿町公民館 大ホール

【報告会のテーマ】：御宿小学校校舎更新について

【出席者】：報告会参加者 69名 御宿町議会議員全員（10名）

【次 第】：1. 開 会 P 1
2. 議長あいさつ P 2
3. 本日のテーマの報告・説明 P 3～P 12
 (各議員の考え P 7～P 12)
4. 情報交換 P 12～P 32
5. 閉 会 P 32～P 33

1. 開 会

田中司会者 みなさん、こんにちは。本日は、足元の本当にお悪い中、御宿町議会報告会にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。

本日は、御宿町議会で録画をさせていただきます。そして、議会だよりなどに写真掲載を予定しておりますので、ご都合の悪い方は、お申し出いただけるとありがたいです。

それでは、報告会に入ります前に、議員の自己紹介をいたします。

（議員 自己紹介）

田中司会者 それでは、早速、議会報告会を始めたいと思います。本日の資料といたしまして、皆さんのお手元に、次第、本日の感想を書いておりますアンケート、議会だより最新号をお配りしています。

御宿町議会では、昨年9月に御宿町議会基本条例を議決し、この条例に基づいて議会運営を進めております。

その一環として、本日議会報告会を開催させていただきました。

本日のテーマは、「御宿小学校校舎更新について」でございます。今、御宿町の中で何が起きているのか、少しでもお伝えできればと考えております。報告会の進行予定ですが、これから約20分ほど、議会の経過についてを説明させていただきます。その後、議員全員から1人3分以内で発言をいたします。10人おりますので、約30分ほどの時間が必要となります。

その後に会場の皆様からのご意見やご質問を受けたいと思います。

なお、この報告会ですが、時間は午後3時30分頃終了するというので予定しておりますので、ご協力の程よろしく願いいたします。

まず、開会にあたりまして、御宿町議長 滝口議長からご挨拶を申し上げます。

2. 議長あいさつ

滝口議長 改めまして、皆さんこんにちは。今日はお忙しい中、またお寒い中、足元の悪い中で、我々議会報告にご参加くださいます。誠にありがとうございます。うちの公式としては初めての経験なんで、今日ですね、正直ワクワクというか、そわそわというか結構議会の時よりも緊張して、夢に出てたんですね。夢にこの会場が満員になって入りきれなくて、外3倍ぐらいの人数になって、大叱られしたような夢を見た次第でございます。で、おかげさまで数を用意したくらい、席が埋まっているのを見て、少し安心しております。元々先ほど司会の方からご挨拶ありましたけれども、9月議会後改選がありまして、10月から10名の議員で議会がスタートしたわけです。内4人が新人であります。で、近隣の市町村に比べても年齢とか性別、まんべんなく多岐にわたって、いい具合に議員があがってきたかなという感じを受けます。そして御宿町議会は、元々ですね、結構他所と比べてはなんなんですけれども、新人のうちから発言が結構自由にできる、そういう昔からの風土がありまして、僕ももう4期目なんですけれども、最初から飛ばして、先輩議員に間違ってもいいから、とにかく議員ていうのは、発言するのが役目だからみたいなことで、もう飛ばして結構発言してきました。今回の議員もですね、皆さん個性が強くて、今議会内でも結構雰囲気は良く、発言もよくしてくれまして、今度の一般質問もですね、結構皆さん精力的に発言いただいて、議案の提案もですね、質問もしていただいて、結構活力ある議会になっております。また、そんな中で町、町長サイドは執行部といわれる機関であります。後から詳しい説明があるんですけども、我々議会というのは議決機関といいまして、よく勘違いされるのが、議会で何でもできるみたいなことがあるんですけども、執行権があるのは町長の役場サイド、我々は政策提言とかはできるんですけども、なかなか執行する責任というのは与えられてないんで、なかなか公約といっても、難しいところがあるわけです。そのへんのところが後からの説明で出てくると思いますんで、ご了解いただければと思っております。また、コロナ禍で相当経済も生活も痛んだ中で、ある程度落ち着きを取り戻してるんですけども、まあ地方の経済はなかなか元に戻らず、観光もですね、なかなかあの政策といっても、まあ今正直低迷期を迎えて、まあどうするかというのも課題なんですけれども、今回の小学校更新に関してと同時に、我々は執行部と一緒に町の経営をしなくてはいけない。町の経営をしなきゃいけないということは、執行部と議会がしっかり車の両輪のように回って、我々は議会提案とかをしまして、しっかりとですね、議会改革を進めていかななくてはならないと思っております。そんな中で、まちづくりは能力よりも人を育てることが大事だと思っております。議会で新人議員の皆さんもですね、4人いますので、しっかりと私自身も教育される方ですけど、皆さん協力して1つになって一緒に頑張っていきたいと思っております。今役場職員もですね、なかなかこういう時代です。結構新人さん辞めたり、途中でいいところに職場を変えたり、相当な離職率があります。これは御宿町に限らず、他の市町村も同じだと思うんですけども、特に御宿町、100人を切ってる人数ですので、目立んですね。やはり、人が育たなければ住民の皆様にもいいサービスもできなくなるし、町づくりも立ち行かなくなりますんで、その辺のところは議会だけでなく、住民の皆様にも議会教育、また役場の職員の教育をアドバイスいただければと思っております。あ

まり長くなるといけませんので、この辺にしますけども、皆さんと一緒に明るい未来へ向かって、一步ずつ頑張っていきたいと思っておりますので、どうかご理解と協力のほう、よろしくお願い申し上げます。簡単ですがあいさつとさせていただきます。(拍手)

田中司会者 ありがとうございます。それでは今回のテーマであります、御宿小学校校舎更新について、石井議員から経過説明をさせていただきます。お願いします。

3. 本日のテーマの報告・説明

石井説明者 それではご指名ですので、私、石井から経過報告をさせていただきます。まず、議決の意味についてでありますがお話をさせていただきます。議会の議決とは、一言でいうと町的意思を決定するということです。賛成者が、過半数を超えれば可決、過半数を超えなければ否決となります。今回の1月12日の臨時議会では、一般会計予算を補正する案が審議されました。議案の内容は、御宿小学校を御宿中学校の敷地内に建設するための基本設計委託費18,183,000円を、単独で補正する内容でした。行政がお金を使うためには、最低千円の単位で議会の議決がないと使うことができません。今回の補正予算案が、賛成2、反対7で否決になったために、設計を委託する費用の支出ができないこととなります。議決機関である議会の採決の結果により、町的意思が決まったということとなります。今回のことでよく、議会は代案があるのかと聞かれることがあります。ご承知の通り、議会、議員にできることは、議決する権利と一般質問や意見書など、いわゆる提案する権利の2つです。予算を作ることと執行する権利は、町長だけが持つ権限です。ですから、今回のことでもまず第一義的には、町長が議会に対して次の方針を示すことだと考えています。これは昨年11月に発行した議会だよりです。令和4年度の決算内容について記載しています。一般会計だけを紹介します。令和4年度の一般会計の歳出決算額は41億7318万円でした。この41億円を使い、職員95名で仕事をします。ちなみに議会費は、6,368万円です。主なものは人件費で、議員11名と職員2名の人件費で、総額の1.5%ほどです。2月21日の議員協議会で改めて確認されたのは、御宿小学校がこのままでいいと思っている議員は1人もいないということです。全員が、何らかの更新は必要だと考えています。更新を否決したわけではないということです。このことはぜひ、ご理解をいただきたいと思っております。どうしたら良いのか、私自身も含めて10人の議員が、それぞれ考えを持っていると考えています。それは一例として、賛成討論、反対討論をお読みになれば、ご理解いただけると考えています。

次に10月以前の議会と、以降の議会で、何が違うのかということについてお話をさせていただきます。それは議会の憲法とも呼ばれている、議会基本条例が制定されて、議会の活動や議員の活動が、明確にされたことだと考えています。議会基本条例は、昨年の9月議会で制定されました。私は10月からですので、前期の議会で制定されたものが、この議会基本条例です。今日この報告会も、この議会基本条例に定められています。前文を紹介させていただきます。

『平成12年の地方分権一括法の施行以来、地方議会の役割は極めて広範囲にわたり、その責任の度合はこれまでに比較にならないほど重くなっている。町民の意思を把握し、町政に反映させる町議会は、御宿町民の代表機関であり、町民の意思決定機関である。町政

運営は、日本国憲法に基づく二元代表の下で、町長と議会は町民の負託を更に重く受け止めて活動し、町長は執行機関として、議会は合議制の議決機関として、それぞれの異なる特性を活かしながら競い合い協力し合わなければならない。そして、町長と議会は、緊張関係の下で論点及び争点を明確にし、御宿町にとって最良の意思を決定することで、町民全体の福祉の向上と地域社会の活力ある発展を目指していく使命が課せられている。よって議会には、これまで以上に監視、調査、政策提言及び立法（条例）の機能強化が求められる。さらに、積極的な情報公開を率先して行い、より一層町民に開かれた議会を実現しなければならない。議会はこの崇高な理念と目的を達成することを誓い、ここに御宿町議会基本条例を制定する。』

冒頭に、意思の決定の説明をいたしましたでしたが、読み上げました通り、町議会は町の意思決定機関であり、緊張関係の下で最良の意思を決定することとされ、そのためにも、積極的な情報公開と、開かれた議会の実現が求められています。具体的には、議決の結果は最良の意思が決定されたことであり、そして、積極的な情報公開と開かれた議会の一例は、今日お配りしている議会だよりや報告会であると考えています。お手元の議会だよりをご用意ください。議会だよりは、通常 25 日の発行ですが、議会だよりの最新号を参加者の皆さんにお配りしたいと考えまして、印刷業者さんにはご無理なお願いをいたしました。快くご協力をいただき、22 日に収めていただきました。本日ご参加いただいた方に、いち早くご覧いただくことができました。本日の議題の説明をする上でも、この 5 ヶ月間、議員がどんな活動をしてきたのか、全体像を皆さんにご理解いただければと考えています。

まず議会だよりの特徴点ですが、わかりやすい情報の提供ということで、お手元のものは 211 号ですが、210 号から賛否の分かれた議案は、誰が賛成したのか反対したのかを表にして、一目でわかるようにしました。また、会議の詳細な内容は、議事録や報告書など、QR コードを載せて、スマホのカメラ機能を使い、即座に議会情報のホームページが見られるように工夫しました。また前期の議会のテーマ、若者と議会を今期も引き続き活動いたしますので、よろしく願いをいたします。順次議会だよりの内容を説明させていただきます。まず、表紙ですが、表紙は 11 月 14 日に役場の議場で開催された中学生議会です。2 ページから 3 ページに特集しています。2 ページに中学生議会の一般質問の一覧がありますが、7 番目の吉野議員が御宿小学校の移転計画について質問しています。2 ページの右下に、黒い点々の四角い模様があると思いますが、これが先ほどお話しした QR コードといいます。スマホをかざすと、御宿町議会のホームページの中に、新しく作られた中学生議会のページが開かれます。こちらでございます。また、中学生議会で議論された内容が、私たちと同様に会議録として掲載されています。これが掲載されている状況です。さらに議員や傍聴者など、参加者の感想も掲載されています。議会だよりで紹介したのは 2 名の生徒だけですが、ホームページには生徒の感想が掲載されており、読んでみますと 10 名の生徒が小学校の移転について感想を寄せています。

次に 4 ページからは、私たちの活動として、12 月の定例議会の一般質問や議案と審議結果が紹介されています。下段に賛否が分かれた議案について、誰が賛成し誰が反対したのか、一目でわかるように表にしています。

次に5ページから10ページは、6名の議員の一般質問の概要が記されています。各議員の会議録は、下の段のQRコードで読むことができるようになっています。

次に11ページから14ページは、議案の主な内容や審議の結果を記載しています。

12ページでは、一般廃棄物の処理手数料の改正案が否決になりました。改正しようとした内容や主な議案と討論が記載されています。

次に14ページですが、これは一般会計予算案の御宿海岸の海浜性植物の管理に対して、議会と十分な理解を求める付帯決議を初当選議員の岩瀬議員が発議者になり、賛成議員が8名で議会の総意を示したものとなりました。

次に15ページでは、上段に総務教育民生委員による、御宿中学校と御宿小学校の学校訪問が記載されています。訪問の内容は、報告書が議会のホームページに掲載されています。これもQRコードで閲覧できます。さらに中段には、閉鎖された資料館など、町有財産3箇所の視察についても記載しています。

次に16ページから17ページは11月28日に開かれた第2回臨時議会の議案と審議内容が記載されています。

次の18ページから21ページが、本日の報告会の主旨である1月12日の臨時議会について記載したページです。なお、議会だよりの作成中に、会議録の掲載が間に合いませんでしたので、QRコードが記載できませんでしたが、2月20日に会議録をホームページに掲載することができました。

18ページの上段は、賛否の状況の表で、賛成議員が2名、反対議員が7名です。議長は賛否に加われませんので、合計が9名になります。補正予算の内容は、冒頭お話しした通り、御宿小学校を御宿中学校敷地内に建設するための基本設計の委託費18,183,000円の1件のみです。左には主な質疑の内容が記載されています。18ページの主な質疑を読み上げさせていただきます。

最初の問いは、「今の場所へ改築する選択肢は」です。質問、なぜ改築工事の選択がなくなったのか。答弁、教育施設検討委員会において、建設候補地について執行部から4つの候補地、御宿小学校、御宿中学校、布施小学校、B&G海洋センター付近が示された中で、2つの候補地、御宿中学校、布施小学校に絞られたため、御宿小学校を改築する話は最初から進んでいない。

質問、改築の場合、総工費の算出と積算根拠は。答弁、改築は新しいものに建て替えるため、総工費は校舎のみで10億円を少し上回ると想定している。実際の総工費は、今回提案している基本設計委託をしないと正しい数字が出ない。

次の設問です。「補助金を早めに示すべきでは」。質問、建設を決めた段階で設計作業に取り掛かり、補助金の対象になることを説明しておくべきではなかったか。答弁、御宿中学校に建設場所が決定した段階で県に相談し、改築の他に補助金が当てられるとの話があった。建設場所がいつ決定するのかを踏まえて事務を進めていたため、決して動きが遅かったという認識は持っていない。と主な質疑を紹介をしています。

次に19ページから21ページまで、討論の要旨を掲載しています。

賛成討論は1名で「少しでも早く安心安全な学習環境を整えるべき」として椎木議員です。反対討論は6名で、1番目は「時間と労力をかけ町民・議会・有識者と対話するべ

き」として岩瀬議員です。

参加者 すいません。反対討論については、反対討論をした議員にやってもらえませんか。

石井説明者 その後に1人ずつお話しする予定になっておりますので。

参加者 そうですか。

石井説明者 はい。すいません。進めさせていただきます。2番目、「むしろ一層の教育環境及び教育内容の充実に投資すべき」として土井議員。3番目、「教育環境の将来像を描くところから再検討が必要ではないか」として塩入議員。4番目、「懸念や不安の声、提言を真摯に受け止めてもっと協議すべき」として北村議員。5番目、「早急に対応を再検討して町の方針を決めていただきたい」として田中議員。6番目、「児童と生徒の特質に合わせた教育環境を整備すべき」として私、石井です。見出しだけでも議員それぞれが異なる意見を持っていることがお分かりいただけると思います。

次に22ページは、12年以上在籍した滝口議長と土井議員の表彰の紹介と、行政視察の受け入れとして、大多喜町議会と栃木県市貝町議会を紹介しています。特に御宿町議会の若モノ議会ワークショップは、指導いただいている松下先生が雑誌に寄稿されたことから、下段の1月15日の栃木県市貝町議会や2月5日の静岡県島田市議会など、視察が相次いでおります。これは先週の土曜日の第2回若モノ議会ワークショップの一コマです。勝浦市からも、2名の市会議員が視察に訪れ、高校生からお子様連れのお母さんを始め、総勢30名で役場の大会議室がいっぱいになりました。ご指導いただいている松下先生からは、子供たちが周りで遊んでいるワークショップは初めて見た。また本に書いて全国に紹介したいと講評をいただきました。

次に23ページは、11月から2月までの議員の主な活動情報を紹介しています。

最後の24ページは、総務教育民生委員会の主催で、いすみ市の下布施に昨年夏にオープンした、先端的宿泊施設「五氣里」の視察報告です。詳しくはホームページに報告書が掲載しておりますので、ご覧いただけます。

以上が議会だよりの内容ですが、最後に学校関連の所管は、総務教育民生委員会の仕事になります。議会には、表のとおり、総務教育民生委員会5名、産業建設委員会5名、議会運営委員会4名と3つの常任委員会があり、議長は自由に参加できます。総務教育民生委員会に所属している議員は、委員長が私。副委員長が塩入議員。委員として土井議員、北村議員、田中議員の5名になります。この常任委員会の活動内容を、一部重なりますが報告をさせていただきます。

総務教育民生委員会で、御宿小学校更新計画について、議長から調査研究の申し出がありました。そこで前期の議会から継続している議員、委員としては土井議員、北村議員、田中議員の3名がおられますので、御宿小学校の更新事業について伺うと、説明はあったが協議していないということです。説明もほとんどが町長からの口頭の報告であり、町民に責任を持って説明できるものはなかったとのこと。私は10月までは一般町民として町の広報を読んでいた限りでは、議会はこの更新計画を承認していたと思っておりましたので、大変意外でした。

そこで委員会として執行部に対して、御宿町の教育方針といわれる教育の大綱。教育施設検討委員会の会議録や会議資料。報告書。御宿町と布施学校組合の学校施設

個別施設計画。御宿町公共施設等総合管理計画。総合計画などの資料を取り寄せて、委員会で検証しました。また総務教育民生委員会以外の議員にも、同様の資料を配布させていただきました。さらに会議だけではなく、学校施設等の現場の視察を行いました。

こうした委員会活動も、冒頭お話しした議会基本条例に、「重要な政策案に対する説明要求」として掲載されております。1、政策を必要とする背景、提案に至るまでの経緯、町民参画の実施の有無とその内容、総合計画との整合性、財源措置、将来にわたる効果及び費用、他の自治体の類似する政策との比較検討と。こうした内容が要求できるということで書いてございます。以上お時間でございますので、終わりにさせていただきます。ご清聴、ご協力ありがとうございました。(拍手)

田中司会者 それでは、本年、令和6年1月12日に開催されました臨時会において、「御宿小学校更新における御宿中学校に御宿小学校を移転して建設するための、基本設計委託を計上する補正予算の議決」に対する各議員の考えを述べさせていただきます。

1人3分以内でよろしくお願いします。

滝口議長 私から個人的な、議長としてではなく、一般個人、議員としての意見を言わせていただきます。先ほど、司会の方からも説明者からもありましたけども、議長というのは賛否に参加することはできません。できませんが、その前の産業建設委員会及び総務教育民生委員会の常任委員会で、発言は、執行部との発言は許されており、また議員協議会、全員協議会とありますけども、議会に上がるまでは、だいたい大きく2つの委員会、協議会があって、否決というのは、まずあまり考えにくいです。なぜなら、そこでもう否決になりそうだったら、ストップをかける。で、執行部に、まずいよ、考え直してくださいよっていうのが中立的な議長の立場でありまして、今回の小学校検討委員会はありましたけども、正直、議会としての、執行部と議会としての協議はまったくされてなかったんです。報告は受けてました。で、報告も、どんどんどん3月の方針から変わってって、御宿小学校、津波とか老朽化で危ないとか、そういう説明を受けて、布施小学校と御宿中学校、だいたい皆さんわかるとおり、一番財政的にもスムーズに行くのが御宿中学校だろうということで、空いてるところにうまくですね、リノベして御宿小学校中学校を作るんだとばかり僕も思っていました。それが、建物ありきにいつの間にか変わってって、8月頃から中学校の建設をするという。小学校移転を、中学校に小学校を移転して、今度は中学校は脇に中学校を建てると。12月になったら今度は御宿中学校はそのまま、御宿小学校の機能として教室が足りないから約12億かけて東側に校舎を建てると。あり得ないでしょう町長と僕は正直言いました。で、12月の補正予算の中に1,800万の予算が組み込まれてたので、それは戻してくださいと。じゃないとほかの補正予算まで崩れてしまって年が越せません。そういうことがあって、何とかそれはもう一度議会の皆さんと協議してやってください。時間もないんで、大体大まかなところはそこで、ただ単に年明けに否決したんじゃないんで、もう12月に差し戻して、否決になるからもう一度やり直してくださいって言ったのが、何もなくて執行部のほうはまた臨時会として出てきた案件で、7名の皆さんの反対。僕も箱物ありきのことには反対という立場を持っています。ただ、議会の総意は、2名が賛成、7名が反対という、これは議会の総意なんで、その辺は住民の皆さんにご理解をいただければと思っています。

ちょっとすいません、時間過ぎたんで終わりにします。

田中副議長 それでは、田中です。議会で反対討論をしました。その時のほぼ同じような原稿を読まさせていただきます。児童により良い教育環境を提供していかなければならないということを念頭に、議員活動はしてまいりました。御宿小学校の校舎更新について、反対するものではないということをお初めに申し上げました。町長がこの件について、施設検討委員会ははじめ、保護者等への説明会、アンケートなどにより検討を重ねてきましたということは、何度も報告として伺っています。しかしながら、説明会等での住民からの質問等に対しては、検討していきますとの事項が多くあり、それらに関して多少なりとも問題点を進展させていると、してきていたのかということが見えてきていません。すぐに解決できるものばかりではないということは十分に理解します。どうせ質問しても、提案しても何も変わらないだろうと思われていることについては、非常に残念なことであります。小学校の校舎更新と校舎移転については、議員として十分に議論をしていない、議論が足りなかったという反省の感があります。今回の御宿小学校の校舎移転については、教育の問題だけではなく、町全体の地域の活性化問題、地域住民の防災の問題、道路交通の問題等々があり、説明会においても住民から質問が多く出ておりました。小学校移転後の町をどうして行くのか、跡地をどう考えているのか、青写真が示されなければ住民の不安は募ります。津波が心配だから移転ということになれば、跡地問題の検討についても困難が生じるのではないのでしょうか。旧岩和田小学校、旧御宿保育所、旧御宿高校などと同様な状態になっていくのではないかと。廃屋の、負の資産が増えてしまうのではないかと。このことを危惧します。移転を決めてから住民の反対を受け、方針を覆すことがないよう丁寧な対応を望みたい。決める前に、地域に出向いて説明をするべきではないかということは、何度か申し上げてきました。布施小学校の統合問題と同様なことを繰り返すべきではないという思いがあります。基本設計の委託料を承認すれば、疑問点、問題点が後回しになります。補助金の申請に間に合わないから、早急な対応をするということに反対ということで、意見を申し上げてきました。以上です。

石井議員 石井です。私は21ページに書かれております反対討論、同じなんですけど、読まさせていただきます。私は、児童や生徒の特質に合わせた教育環境を整備すべきということで、反対をいたしました。何よりも小学校は小学校として、中学校は中学校としての児童や生徒の特質に合わせた教育環境を整備すべきと考えます。その上でも町長の検討方針の3番目の小中連携（一貫）教育は十分に達成できると考えます。町長は、御宿小学校の更新に対し4つの指針を示されました。1. 東日本大震災を教訓に津波災害に対しより安全であること。安全を考えるならまず検討すべきは、現在の中学校の設計が立体的で複雑な造りとなっていて、職員の目が届かない空間がたくさんあることです。小学校の運用には、日々の安心安全が懸念され、児童の生活空間にふさわしくないと考えます。2. 勉学にふさわしい静かな環境であること。静かな教育環境から後退する懸念があります。ゆとりある中学校に無理やり、小学校を同居させる状況になります。3. 少子化が進む中で小中連携、一貫教育を見据えた方向性について。野沢温泉村では、保育園、小学校、中学校総称して野沢温泉学園といい、施設や職員体制は別に行っていま

すが、野沢温泉学園の職員として心1つにし、一貫した保育と教育活動を行っています。御宿町のこれからの教育のあり方の1つとして参考にすべきと考えます。4. 財政状況を勘案すること。財政状況を勘案するなら、石田町政にあっては、使用されない施設を増やすことのほうが問題です。岩和田小学校や旧御宿高校の教室棟は廃墟同然で活用されておらず、新たに御宿小学校、布施小学校などが遊休施設となる可能性が大きいからです。実際10年前に町所有地等活用検討委員会で一定の方向性が示されたのにもかかわらず、有効な活用方法が示されず、これ以外の施設も遊休施設が増え続け、その活用に莫大な費用が見込まれているからです。以上、町長ご自身が示す4点どれをとっても、適切さを欠いており、賛成できないことを述べて、反対討論とします。なお、10ページに12月定例会での一般質問で、御宿小の建て替えの方針は立ち止まって精査すべきという立場で、一般質問をしておりますので、併せてお読みいただきたいと思います。ありがとうございました。

土井議員 皆さん、こんにちは。私はですね、前任者と同じように反対の立場で申しますので、よろしく願います。まず1点目としては、この計画を実施しますと、さらに空き校舎が増え、御宿保育所を含め5校舎になります。町民の財産を未使用のまま放置することは決して許されるものではありません。2点目として、今後さらに我が町はもちろんのこと、近隣市町村も少子化の進展が予想される中、市町村合併又は広域市町村圏組合を視野に入れた学校経営の在り方を決定する必要があると思います。したがって、方針決定までは現在の校舎を維持修繕して、使用していくことが賢明だと思います。3点目としまして、今日、大幅な歳入増が見込めない中、むしろ一層の教育環境、教育内容の充実に投資すべきで、今は町民の負担を軽減に尽くしていくべきです。最後に、御宿小学校の建築年数は50年経過し、町は耐用年数60年に到達するので、建て替えが必要であると言っていますが、実は町が委託した令和3年2月、御宿町学校施設個別計画によると、あと20年は対応年数があるという調査結果です。以上の理由により、私は反対します。以上です。

北村議員 北村でございます。私も反対の立場で討論をさせていただきました。基本的には議会だよりに記載の通りなので、なぞる形でお話をさせていただきたいと思います。大きく私が反対をさせていただいた理由には3つ理由があります。1つ目はですね、まあ田中議員もお話ありましたけれども、この問題、とっても難しくて、まあこの先50年のですね、御宿の未来をある部分左右するんじゃないかというぐらいとても大事な議題だったと思います。私も子育て世代の1人としたしましてもですね、周りの皆さんからもいろんな意見が出ます。冒頭からこの10人ものいろんな意見があるという話をしてまいりましたが、私の身近、今日も子育て仲間、何人も参加してくださってますけれども、みんな一人ひとり意見が違う。で、これを....

参加者 簡潔に、反対意見を言ってください。

北村議員 あ、はい。ですので、そういった様々な意見に対して町長は答えていないんですね。いろんな懸念、ここが心配だ、ここはどうなってるんだ、ここはどうしてくれるんだというような声がたくさん挙がってるんですが、町長、町執行部は、そういった声に対して答えていないです。もっと言えば、1つの答え、一定の答えはしてくれていま

すけれども、それに納得している人たちが非常に少ないというのが、私の肌の実感です。ですので、もっともっと時間をかけて協議をしなければいけなかった。そのことを私は、早くから訴え続けてまいりましたが、そういったことは一斉せずにはですね、ワークショップを開こう、専門家を交えたシンポジウムを開こう、開いてくださいとお願いをして、町長は一旦はやると約束をしてくれましたが、結局町長は開かずに、何ヶ月も経ってずっと待ってましたが、開かずに終わってしまった。これが私の反対理由の1つです。それから、もう1つは、2つ目ですね、これはそもそもこの町の未来を、将来を左右する大事な問題ですから、この町をどういう町にしていきたいか、だとしたら、学校はこういう場所に、こういう学校を作ろうじゃないかと。みんなそういう思いが、アイデアがあるんです。そういった議論も全くしないまま来てしまった。これが2つ目。で、すいません。時間が過ぎましたので、3つ目。これは、アンケートですね。ああいう形でアンケートを取れば、御宿中に多くの声が集まるってことは、みんなわかってました。それは聞こえが良いからです。小中連携、小中合同、お金も安くなる。でも実際にはたくさんの方の怪訝の声が挙がったということですので、この3つをもって、私は反対をさせていただきます。以上です。

藤井議員 藤井です。今回の採決で賛成者2人のうちの1人としてこれより、賛成の意見を述べさせていただきます。令和5年1月に行われました1,000名に対するアンケート調査は、回収数は394名、回収率は約4割でありました。その結果においては、70%が御宿中学校を選択しました。私は、これは民意であるというふうに考えます。現在の御宿小学校よりも、安心安全である高台の御宿中学校を選択、希望した結果であると思います。そして、もっとも重要であるのは、令和5年3月の定例議会の御宿町総合計画の中で、令和9年3月までに御宿小学校を建て替えるという議案に対し、当時の議員全員の賛成で可決、承認をされたことでもあります。このような中、議員と検討委員会が約1年半にわたり積み重ねてきたものをなぜ今ここで立ち止まってしまうのかと。このまま学校建設を続けるべきであるという意見が、私の周りには多くあります。もちろん私も同じ意見であります。保護者の皆さんは老朽化した現在の小学校よりも、安全な新しい校舎、津波の心配がない高台を望んでいます。教育には積極的に投資をし、そして教育は止めずに前に進めるべきであるということで、私の賛成の意見といたします。(拍手)

椎木議員 椎木です。よろしくお願ひします。今回賛成の討論をさせていただきましたが、私の意見としましては、御宿小学校更新事業については、先ほど藤井さんの方からもあった話ですが、第5次御宿町総合計画の前期実施計画で重点事業として位置づけ、令和9年3月までに新校舎に更新するという記述がされております。昨年3月に開催された定例会においても承認され、これは非常に重要なことではないかと思ひます。またコンクリートの耐用年数ですが、御宿町の場合、台風や南風が吹きますと潮が飛んできたり、砂が飛んできたりして、非常にコンクリート構造物に劣化が懸念されます。コンクリートに亀裂が入り、鉄筋が腐食し、剥落の危険が大きくなります。今現在、小学校の複数の箇所でこういう状況が見られると聞いております。また新年早々、能登半島を中心とした地震が発生し災害が発生しています。房総半島でもいつ発生するか分かりません。少しでも早く子供たちを、安心安全な学習環境を整えるべきだと思ひます。御宿小学校

校舎更新事業について、町総合計画に基づいて速やかに進めていくべきと賛成討論とします。以上です。(拍手)

岩瀬議員 こんにちは。岩瀬環樹です。本日は御宿町初の議会説明会にお集まりいただきありがとうございます。議題に御宿小学校の更新とありますが、御宿小学校更新に向けた基本委託料 18,183,000 円についてご説明いたします。この件につきましては、住民説明会、議員協議会で説明を受け、総務教育民生委員会を傍聴し、直前には石田町長と2度の面談をし理解を深めました。そして、臨時会当日は9つの質問をさせていただき、最後に反対討論をしました。これは御宿小学校更新に対して反対したのではなく、その内容と手続きの過程に問題を感じたからです。内容につきましては、お手元の議会だよりにより各議員の賛成反対の討論を要約したものが記載されていますが、町ホームページから議会会議録にて質問と回答、討論の全文をご覧いただくことができます。私は1人の町の代表者として、10月臨時会、11月臨時会、12月定例会。年が明けて1月臨時会、2月臨時会と、真剣に取り組んできました。その中で反対したのは、反対した議案は2件。廃棄物処理料金の値上げと御宿小学校更新の基本設計料委託費。そして条件付きで賛成したのが、海浜海岸除草作業委託の1件です。一つ一つの事柄について真剣に取り組み、精査した上で回答しております。ご清聴ありがとうございました。

伊藤議員 皆さん、こんにちは。伊藤城祐と申します。御宿小学校校舎更新について、私の考えを述べさせていただきます。私の信念は、故郷御宿を良くすることであり、御宿の子供たちのことを考えると、早く新しい校舎で学ばせたいのはやまやまであって、決して御宿小学校の更新に反対してはなりません。しかし50年先を見据えた計画において、具体的なコンセプトが見えないのが現状です。そして更新までには時間があるため、来年布施小学校の子供たちを受け入れる前に、校舎の安全対策をしっかり行う方が先であり、これからも協議を重ね、子供たちにとって良い方向を目指したいと考えています。時間早いようですが、これにて反対の意見とさせていただきます。

塩入議員 塩入でございます。私自身ですね、皆さん今まで討論されたのと同じでですね、小学校の更新自体に反対しているわけではありません。私の言いたいことはすべて議会だよりのほうに書いておりますけども、まず1つ目がですね、町執行部が、最初に教育施設検討委員会に対して提案したものは、町内の4箇所の中のどこかしらに新しい学校を作る。その場所を検討してくださいという、ただその場所をどこにするかというところだけを検討委員会に対して丸投げの形で行ったわけです。それに対して検討委員会では、今後この町の教育に関して、どうしたいこうしたいというような議論がほぼされずに、結局決めることがなかなかできなかつたので、町民にアンケートを取りましょう。そういうような形で乱暴なアンケートをとって、それを根拠として今回町長及び執行部のほうは、基本設計の予算を議題に上げてきた。そういう経緯があります。そのアンケートも、委員会の複数の委員は、こんなアンケートをとっても無駄ですよ、無駄ですよと言いますか、この結論ありきのアンケートであって、これは民意を完全に反映することができません。そのような意見もありながらも、とりあえずとってみましょう、というアンケート。じゃあとるんであれば、それは単純に判断材料として使うのではなく、そのアンケートを基に改めて検討しましょうということでアンケートをとった。に

もかかわらず、それがまるで根拠、民意を集約したかのような話の持っていく方で、現場このような形になっている。そういうことに私自身は反対をさせていただいております。詳しいことは、議会だよりのほうでご参照いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

参加者 小学校は。御宿中学校に持っていかなってことなんだろう。そういえばいいじゃねえかよ。何もこんな...

田中司会者 それでは、...

参加者 待ってろよ。

田中司会者 すいません。以上で、全議員からの考えを述べさせていただきました。これから情報交換会に移りたいと思います。情報交換会の座長は滝口議長が行いますので、よろしくお願いいたします。

4. 情報交換

滝口座長 それでは引き続き、情報交換会を行いたいと思います。お話をされたい方、また、ご意見ある方は挙手をお願いいたします。挙手をされた順に私が指名しますので、お話し下さい。挙手しなくて、意見を述べるのはちょっとお控えください。
はい、どうぞ。

参加者 A 新町に住んでいます A といいます。よろしくお願いいたします。もう、人生の最終コーナーを歩きながらですね、私はこの町が、最終コーナーですから、次の世代にどうするか。我が子は首都圏で働いていますので、我が子が帰ってきたり、もしくは我が孫が、こういう環境の良いところで御宿に子育てをしに帰ってきたいといったときに、この町はこうやって元気にやってるよと言いたいのが、私の今の考えです。これを前提にしまして、私は御宿町が今取り組んでいます第 5 次総合計画において、令和 9 年までに新しく御宿小学校を更新する。安心しておりました。また御宿広報等によっても更新する流れで動いていると思いました。なぜなら、今度の町議会議員選挙において、町長のやり方がおかしいとか、今までの検討委員会のあり方がおかしいとか、そういう議論は一言も私にはですよ、なさってる場所もあろうかと思えます。私には耳に聞こえてきませんでした。新しく選ばれた議員の皆さんが、10 月 11 月 12 月に、滝口議長さんがおっしゃったように、不備な予算を退けて違う予算を通して、不備な予算は臨時補正予算として提案する、その時に政治活動として、町民の意見を一つも聞かずに、そして議会では反対反対反対って言って、私が知っている限りの、このコンクリートの対応年数の話が出ましたが、コンクリートのことを研究してなさらいいと思う。何も触っていない所が、コンクリート 60 年持つわけがない。横浜の三井物産のビルが 1911 年に建ったものが今も残っています。見に行ってください。関東大震災潜り抜けたんですね。1911 年に建った建物が、もう 1927 年に改修してるんです。事実です。改修しながらこう、長寿命化というのは改修しながらもっていかせることをいうんですね。今の状態の反対議員の中もちゃんと御宿小学校の屋上のコンクリートが剥離している。中性化が起こっているわけですよ。鉄筋がもつわけがない、爆裂したらもう終わりです。そういうところに、我が孫のまた孫を、子どもを勉強させるために帰って来いと言えるか。早く移転、更新

する。更新に反対の方々は少ないようですので、ぜひ反対の方々は、令和9年の3月までに更新しますといった議会の議決をどのようにお考えなのか。ロードマップ、これから先の、いやいや今、まだ間に合うんだよ、この3か月できちんと議論して、町長の姿勢、町の姿勢を変更させるから、この反対はあなたたちも理解しなさいというのなら受け入れますので、どうぞその辺のお話をしていただければと思います。どうも失礼しました。(拍手)

滝口座長 では、土井議員が答えますんで。

土井議員 先ほども申した通り、御宿町はこの校舎建て替えとはうんぬんの話で、事前に委託業者に建物の健全性につきまして、このように結果が令和3年2月に出ています。その中で、コンクリートの強度とアルカリ度、これを判定しまして、実は強度は十分あり、またアルカリ度もですね、まだ進行していないという結果がございまして、あの校舎は見た目は悪いけども、構造物としての強度は保たれてるんだという調査結果であるわけなんです。ですから、今後はどういう扱いにするかは別として、少なくともここを使っていくのは、また補修していかなきゃいけないんじゃないかなと。そんなような計画がここに書かれていますので、あの第三者が作った委託物ですから、ここを私も信用しております。ましてや、この件につきまして本当に専門の大学の名誉教授のほうに、はっきりと御宿に来た時に確認しております。ということで、私は一層まだこの建物が20年以上利用することができるんだということを確認したわけです。すいません。

滝口座長 ほかに。

補足させていただきます。今のご意見ですけれども、土井議員と私は全く同じ考えのもと、建築家の方にも確認しましたけれども、耐用年数60年という鉄筋コンクリートの
は、国の会計予算年度の役所が示す指針であって、建築上ではまったく耐震、御宿小学校では耐震もしてますし、トイレもリノベーションしてます。まして、一番私が疑問に思うのが、あと移転、小学校移転するにしても建てるにしても、あと2年間は布施小学校の子を来年4月に呼んで、合併して、少なくとも2年間は御宿小学校を使わなくてははいけないんです。その予算が組み込まれてない。それは問題じゃないんでしょうか。皆さんに逆にお聞きしたいんですけど、2年間は御宿小学校を使わなくてははいけないことになっているんです。確かに傷んでるところあるんですけども、リノベする予算が今回の当初予算に出てくるかわからないんですけども、危ない危ないは分るんですけど、今でも使ってます。まして、2年間は少なくとも使わなくてははいけない。でなければ、布施小学校の子をこっちに寄こすようなことは、僕はできないと思うんです。その辺がまったく抜けていて、移転するにしても、跡地利用が全く示されてない。廃墟化して御宿のど真ん中、伊藤鬼一郎先生が五倫覺の精神でですね、僕も御宿小学校OBです。御宿小学校OBの方いっぱいいらっしゃいます。年配の方をはじめ。あそこはやっぱり聖地なんです。で、それを時が来たら移転しなきゃいけないふうになるかもしれないけど、当面は使わなきゃいけないという議論が全くそこも抜けちゃってて、壊すこともできない、跡地利用することもできない。それは先ほど田中議員が言ったように、岩和田小学校然り、布施小学校、今度空きますよね、布施小学校然り、御宿高校の後ろの教室棟。御宿高校は52年で、今中央国際学園に貸してます。2億ぐらいかけてリノベし

て立派な校舎に蘇らせてくれました。後ろの教室は何かっていうと、廃墟化してます。町が持ってる施設になってます。そこもどうするのか。そういうことも踏まえて考えていけないと、我々は思ってます。その辺、ご了承いただければと思います。

滝口座長 次にご質問のある方。

参加者B 冒頭ですね、石井議員から議会の議決は町の意味を決定すると。その通りだと思っんですよね。ですけども、その決定が町民の受け入れる決定かどうか、ここが大事なんですよ。ね。今回御宿小学校の移転計画について議会は反対しましたよね。移転計画というか御宿中学校に移すことについて否決しましたよね。そうじゃないですか。そういう大事な決定だったんじゃないですか。私が言ってること間違ってますか。それでね...

滝口座長 否決はしました。最高の決定機関で否決したんで、それは我々も、執行部も今後どうするかを話し合わなければいけない。

参加者B 否決したってことは、町の意味を決定したってことですよ。否決の決定をしたってことですよ。

滝口座長 そうです。

参加者B これは大変御宿町民にとっては大きな問題ですよ。というのは、今 60 年の問題がありましたけれども、1 日も早く御宿小学校が情勢とか安心安全で過ごせる場所を見つけあげなきゃいけないということで、更新をしていこうってことなんですけども、それができないじゃないですか。それでね、皆さんは反対討論を簡単にされましたけれども、討論の中身を聞いていますと、学校をどこに移設したらいいかっていう話よりも、その手続きについてだとか、アンケート結果がこうだったからだとか、ちょっとかけ離れたことを言ってんじゃないかと。ね。もっと基本的なところが詰められてないんじゃないでしょうか。私、言ってることわかりませんか。

滝口座長 石井議員に答えてもらいます。

石井議員 私の 12 月の一般質問のほうにそういうところを書いてあるんですけども、先ほど土井議員が説明しました、これが令和 3 年 2 月に作られました学校施設個別施設計画と申しまして、耐用年数がどうなってるのか含めて、詳細に検討したものなんです。で、この書類ですね、実は総務教育民生委員会で請求して初めて出されてきたんです。ですから、検討委員会でこの書類は出されてないんです、まず。出されてなかったんです。ですから、議員の皆さんいろいろおっしゃってまして、いくつもあるんですが、一つ伊藤議員が令和 7 年ですね、今議長もお話しされてましたけど、令和 7 年に布施小学校の子どもたちが来ると。なんとか安心した学校にしたいんだというお話をされましたよね。私も全く同感なんです。で、私も学校見に行きました。屋根も爆裂してました。もう一つは雨水排水管なんです。もうぼろぼろになってました。一番ひどいのはね。ですから、この間の 1 月 1 日の大震災はいつ起こるかわかりませんよね。こういう状況の中で、あの学校でいいのかと。ですから、まず、御宿小学校を安全な学校にするってのが私は第一優先課題だと思っています。それはそんなに時間かかんないと思っんですよね。で、私たち委員会として見に行きまして、議長、副議長連名でですね、この学校を早く直すべきではないかと、緊急に直すべきではないかという意見書ですね、要望書

を町長に出しました。実際懇談して具体的な中身もお話ししました。しかし、口頭で、一番大事なところは令和6年4月1日以降、3月議会に多分提案されるんであろうと思いますけども、報告ありません。どのようにするのも含めて。それが大事なんじゃないですか、まず最初に。もしくは、同時並行に進めるべきだと思いますよ、少なくとも。と思います。そういう状況なんです。ですから、まだまだたくさんお話をしたいことはあるんですけど、時間の関係でこれで終わりにしたいと思います。

参加者B 要するに皆さんの…。

滝口座長 挙手してください。

参加者B 皆さんの議決はですね、御宿中学校に移設しようとする行政の提案を否決したってことなんですよ。

滝口座長 そうです。

参加者B そうですね。そのために、そのことでいろいろ理由を言われたと。だけど、その理由は手続き的なことだとか、跡地が見つからないのにやるのはおかしいとか、何か反対のための反対しか聞こえないし…。

滝口座長 そういうことではないんで。それじゃないです。それは僕らに言うんでなくて、執行責任者町長におっしゃっていただきたい。

参加者B そうじゃないですよ。だって反対したのは議員の皆さんなんですから。

滝口座長 反対が何か悪みたいなこと言いますが、我々はそれぞれ一人ずつ信念をもってやって、別に町長が憎らしいとか嫌いだから反対してるわけじゃないです。

参加者B 私もそういうことを言ってるわけじゃありません。町民の議決、町民といいますが議会の議決っていうのは大事です、町の決定ですっていうから。その決定は誤ってませんかっていうことを言いたいわけですよ。

滝口座長 そうしたら議会いらんないじゃないですか。

参加者B そういうことではないですよ。

(そういうことですよ。町民が選んだ議員ですもの)

滝口座長 よろしいですか。どうぞ。

参加者C ええとですね、私の知人に埼玉県で教育長をやったものがありまして、そいつから言われたんですけど、俺は教育長をやって2つ失敗したことがあると。で、1つはですね、学校のことなんですよ。で、学校のことを考えるときに、学校の関係者ばかりでやってしまったと、教育長ですから。これが大失敗したと。もう1点が、学校の校舎を含めてですね、教育というのを効率で考えてしまったと。効率がいいか悪いかということで考えてしまったと。この2点が教育長をやったもので大失敗したと言っていました。これはどういうことかといいますとですね、今回検討委員会のメンバーのメンツを見ますと、これは町長が出したものを読むんですけど、議会の方、教育委員会、小学校中学校各保護者代表、御宿認定こども園保護者代表など12名からと。ということは、あそこの小学校の周りの住民の方誰も入ってないんですよ。で、これ私岩和田小学校のPTAの会長をやりました。岩和田小どうなったかということ、子どもの声が聞こえなくなる、学校の放送が聞こえなくなる、寂しくなっちゃうんですよ。これをやはり私の知人の教育長が言ったことはそこだったんですよ。教育は学校だけで考えてはだめだよと。

その周りのこと、地域がダメになる原因になるぞと、ということが、教育長をやったものが失敗だったということを書いてました。これで考えていただきたいと。先ほども意見で出てましたけども、周りの地域のことを考えてもらうと。学校は学校だけじゃなくて、まさしく公共施設ですから、御宿町全体をどういうふうにするんだという中で、御中にするのか、小学校にするのか、その議論はともかく、そこが欠けてるんじゃないかということが1点です。もう1点がですね、よく出る話なんですけども、安全安心で言葉があるんですね。この安全安心というのはですね、実は思考停止させる効果があるんですよ。安全安心という議論が進まなくなっちゃうんです。これが一番安全安心で言葉が持っている危険性なんです。で、これでいうと、津波のことが出ますけれども、津波もですね、今のハザードマップ。あれは平成25年3月ですね。東日本大震災後に御宿町が改定したものを見ててもですね、あそこの小学校のどこまでは4mか5mですね。で、子どもだけ安全にして、周りの人どうすんのと。どうすんだと。藤井さんのところはどうすんだという感じになっちゃうんですね。そこは子ども安全安心ばかり言うのは、それは大間違いだということ。それからですね、じゃ御宿どのくらい来るのかというのがですね、産業総合研究所、これは千葉県沖の地震のシミュレーションをやっています。で、結果ではですね、8名やってるんですけども、もうバラバラ。そのうちの一人の宍倉という人がいますけど、これは大多喜町出身の方です。よくテレビなんかで出てますけども、専門家ですね。要するにバラバラなんです。で、もう1つ出てるのが、千葉県で出てる防災誌というのがあります。そこに元禄津波ということ、千葉県で出したのがあります。あれで見ると、県内で最大のところで10m。最大です、これが。で、今児童館があるすぐ千人塚がありますけれども、あそこは12、3mありますか。あそこまで津波が来なかったということははっきりしています。それから、もう1つは津波でいいますと、今回の東方沖もそうですけども、隆起したり沈降したり両方起きますよと。あれ鯛の浦あたりからずーと長狭街道近辺まで沈降してると。これは県の防災誌に出てる話です。ですから、何が言いたいかというと、あまり安全安心ばかりにとられるなと。私の女房が福島ですので、東日本の後行ったときにですね、東北何度も津波が来ると。聞いたらですね、東北の人達は馬鹿じゃないと。津波来るの知ってるよと、あったこと知ってる。そこといかに折り合って生活していくかだと、それでやってきたんだと、そういうことを書いてましたんで、そういうことを含めて、場所の選定などを考えていただけたらと。以上です。

滝口座長 ありがとうございます。誰か、議員のほうで。

石井議員 今の、ご意見いただきましたけども、実は石巻市ではですね、御宿小学校と同レベルで学校経営、実はしております。ただ、それをするためには地域の皆さん、今お話出ましたけれども、決意が必要じゃないかなというふうに思います。ちなみにこの御宿小学校のところに、防災施設としての役割についての検討というのは、今回検討委員会ではされていないということだそうです。それから、実は御宿中学校なんですけれども、御宿中学校の避難想定は浅間山なんです。私質問しましたところ、耐震性ですね、地震に対する問題。それから大雨、降雪時などについての安全性については確認されてるかって質問したら、確認はしていないと。だから、絶対安全でないと、危険とは

いえないんですけれども、安全ではないということもわかっております。そんなことも含めまして、きちんとさまざまな観点から整理検討された内容であれば、多分異論は出なかったというふうに思うんですけども、さまざまな課題について、そのまま残したまま進むということについて、多くの議員が、いろんな立場から疑義が出たというのが実態ではないかなというふうに思います。

参加者D 新町のDと申します。まず一番大事に考えなくちゃいけないのは、子供たちの本当に命だと思います。福島原発ですか、あれも学者が7mだったら大丈夫ですよと、7mの津波だったら大丈夫ですよと言いましたよね。ところが実際来たのが14mとか15m。そして、大川小学校の時も海岸から約4キロですか、離れた高台にあると。そしてその前に防波堤というかコンクリートで作ったものがあると。それで大丈夫だよと、ここは津波が来ないよとみんな考えていました。その学者が言ってました。学者が言っているっていうのは、今バラバラって言ってましたけど、まさにそうだと思うんです。学者によってみんなバラバラです。だから、私たちは学者が言ったことをそのまま信じちゃいけないあと、この時点で。じゃあ御宿どうしたらいいのかっていったら、御宿で一番危険なのは今、最近なんか布施小と御中と御小、今3点に絞られたと話聞きましたけど、一番危険なのは御小だと思うんですよ。すぐ川が、清水川が流れてます。そして、先ほど元禄の地震の話がありましたけど、元禄地震の津波で夷隅風土記なんかでいうと、浅間様の麓にまで来たと、いうことで麓に千人塚の今碑が建ってますよね。千人塚のお墓の所に。あれは元々は多分浅間様の下にあったと思うんですよ。だからそこまでは、津波は来るといふに私たちは考えていいんじゃないかと思うんです。私たちの先輩は、ここまでは津波は来ますよと。だから、あそこに最初は碑を建てたと思うんです。ところが何かの理由でこっちへ移したと。あれは本当は移しちゃいけないものじゃないのかなあと思います。そして、御小の近くは、御宿町久保字海老塚ですか、という地名も残ってます。これは多分津波で海老が大量にね、そこまで来たんだという、多分地名の教えだと思うんです。それを無視して私たちは一番危険なところに、御小の所に校舎をまた作るっていうのは非常に危険だと思います。ましてや老朽化してます。地震で倒れるっていう保証は全然あつ、倒れないっていう保証は全然ないです。地震で倒れて、子ども達の命っていうのは難しいなと。ましてや今度はね、御中まで行ったら大丈夫かという、これも難しいなと。じゃあ一番どこが安心なのかっていったら、私は布施小だと思うんですよ、布施小だったら。今私たちが考えなくちゃいけないのは、早くどこを建てるか決定することだと思うんです。その教育の指針とかね、こんな方向を目指しましょうとか、町の方向を目指しましょうというのは、その後に検討してもらいたいと思います。とにかく1日も早く場所を決定して、その安全な所、安全な所っていったら、心配なくていいのは布施だと思うんです。私も実は学校関係で勤めてたことあるんですけど、先生方が一番心配するのが子ども達の安全です。命です。勉強も大事ですけど、一番それを心配してます。だから、避難訓練とかね、これから多分御小とか御中もね、絶対避難訓練はしなくちゃいけないと思います。避難訓練もただ形式的にやればいいのかという、絶対そうではないんです。子ども達が外に行った場合はどうするかとかね。理科室にいた場合はどう対応するか。いろんなことを考えなくちゃいけな

い。その時に責任者である校長とかね、管理職は本当に心労だと思います。そして教育委員、それを司っている教育委員会も、ものすごく心労だと思います。町長さんも。とにかく責任者の立場になったら一番安全なところ。ぜひもし検討するんだったら、これから検討する余地があるんだったら一番安全な所という、そこを第一に考えてもらって、町のこれからの進む方向とか学校の方向というのは、その後に考えていただきたいなあ。それで間に合うと思います。以上です。

滝口座長 ありがとうございます。布施地区の、検討委員会に入ってた北村議員に一言答えてもらいます。

北村議員 ありがとうございます。私も子供が布施小に通っていることもありますし、あるいは、そもそも東京から移住してきて、当初は御宿小学校の学区内に、新町に住んでおりましたが、より私の子育て環境として、私の個人的な志向としてですね、布施小のようところで子育てがしたいという思いで、町内で実谷に引っ越しをして、子育てをしてということが私にとっては前提があるんですが、私もいろいろ個人的な志向を抜いてでもですね、今参加者Dさんおっしゃった私は同じ考えであります。1つには、これからこの町をどうしたらいいかということ、私は議論したいということ、先ほど申し上げましたが、子どもが、皆さんご存知の通りで本当に減っています。そしてこの減ったまま時代だからしょうがない、人口推計でこうなってそのとおりになるんだからしょうがないというふうに、町執行部はいろんな場面でそう考えてるような考えを示しておりますが、私は諦めていません。御宿町を私は諦めていないんです。御宿町は子育てに本当に良い場所で、私はそのために人生をかけて全て仕事も投げ打って御宿に越してきて、そして子育てを今しています。そしてまだまだその良さが、もっと磨きをかければこの町はたくさんの子供たちの声で溢れる町になると、そう信じてるんですね。で、そういった意味も含めて、先生のおっしゃられた安全性の面、それからこの町をこれから子供たちの声で溢れる町に変えていくには、一番いいのは私は布施小の場所がいいかなあというふうに思っています。ただそれはあくまで私、ああいう環境が好きだというだけであって、もう一つにはやっぱり御宿台というも声も多く聞きます。やはり高台で、そして海にも山にもほど近いというか、そういう所にも町からの提案では、御宿台お金がかかるから、もうそもそも検討に入っていないよという形でスタートしましたけれども、私は十分にまだまだ検討の余地があると思います。それは土地の買収交渉もですね、してないんですね。あの、一般論で御宿台購入したらいくらですか。かなりの金額だったと思います。それでもう、その時点で諦めてしまった。でもそれはあくまで定価であってですね、この町のこれから、こういう町づくりをしたい、御宿台に学校を、新しい小学校を作って、しかも、日本全国に名を馳せるような特色のある素晴らしい学校を作ればですね、そこにはたくさんの子供が溢れ、御宿台中心にですね、新しい御宿町が生まれ変わり始めると、こういうビジョンだって十分に描けると。私は当初からそれを訴えてきました。ですので、ビジョン、コンセプト、こういうことを話しあいながら、新しい学校、みんなで知恵を集めながら、考えていこうよということ、この最後の議決の時に言ったわけじゃないです。検討の最初から言い続けてきたんですが、なかなかそういう議論をしていただけなかったということで、私もそこを説得できなかったということ

で、力不足を感じておりますけれども、やっぱり先生おっしゃられたとおり、子ども達のこれから、この町のこれからの考えれば、簡単に、はいそうですかということで、ゴーサインは出せなかったというふうに思っています。以上です。

滝口座長 次、どうぞ。

参加者E 布施に住んでますEと申します。私自身、子供が3人いて、1番上が年少さんで、次布施小に行く予定なんですけど、布施小がなくなるということで、御宿小学校に通わせる当事者になります。伊藤さんや石井さんの言うように、御宿小学校の整備をまず第一に考えなきゃいけないんじゃないかってそういうのも言っていただけて、とてもうれしいなと思っておりますし、私は御宿中学校に小学校を建てるといふことに対しては反対というか、今まだ懸念があるなという状態で、もしこの懸念が払拭されれば、子ども達も少なくなってるし、これでいいのかなとも思うんですけども、送り迎えの時に今でさえあの雨の日ですね、渋滞するのに、これから小学生が増えたら、道どうなっちゃうんだろうとか、ハザードマップ、先ほど石井さんもおっしゃってましたけど、浅間様、ハザードマップじゃない土砂崩れとかそういう懸念がありますがどうですかっていうのを、町長や教育長さんのほうになげましたところ、まだ検討中というお話をいただいたり、それを聞いて、よし安心してここに通わせようって思う親がどれだけいるのかなっていう。そういうところをアンケートでは、そういうところは明確に書かれておらず、多分明確に書いてあっても、みんながみんな読むわけではないと思うんですけども。なので、あのアンケート結果を基に、70%はい、もらえましたということで進めようっていうのは、やはりちょっと乱暴だなとか、あと、民意がちゃんと反映されてないんじゃないかなと思うようなところが多々あります。これから子ども達が少ないということで、1学年1クラスでいいじゃないかというお話があったんですけども、それ子ども増やす気は全くないのかなと思って、私としてはこれから子ども達移住促進、移住定住促進とかいろいろ言ってらっしゃったり、子育て世代に優しい政策をととか言ってらっしゃいますけれどもって町長に、これから子ども達を増やしたり移住者を増やすっていうのは考えてますかっていうのを投げかけましたところ、子供たちを増やすっていうのは無理だろうということをおいただきました、はっきり。いただきましたので、あっ、ちょっと残念だなあと。移住定住促進とか子ども達に優しくとか言ってて、子ども達が増えるのはないから、1クラスで良いよねっていう感じであそこにギュッと建てられるのは、親としてもやっぱり心配だなあと。道の心配もあるし、ハザードマップの心配もあるし、教育環境の心配ももちろんございます。で、1クラスっていうだけでなく、中高一貫っていうのはあり得るらしいですけど、小中一貫ってとても難しいっていうのを聞いたんですね。中高だと、13歳から18歳までになるんですけど、小学校って6歳から15歳まで、校舎の中で過ごして一緒に過ごすっていうことがどれだけ大変なことか。15歳の子が、6歳の子と同じ環境で学習していくことが適切なんだろうか。で、それに関して、ちゃんとした有識者であったりとか、そういうのに詳しい方をまず配置するっていうのではなくて、小中一貫っていいじゃないっていう感じでそのまま進んでるというような印象を受けたんですね。その中身が全くどういうものかっていうのがわかってないのかなあっていうのと、実際当事者の私たちからすると、ちょっと難しいん

じゃないかなって思うような、あの、素敵な中学校の中庭に遊具を建てましょうみたいな。中庭に遊具があったら、その遊具で遊ぶ子ども達も狭いし、素敵な中庭がなくなる中学生たちも寂しい思いをするだろうし、素人目でしか意見を出せないんですけれども、まず有識者を入れるべきなんじゃないかなあっていうのも思います。(拍手) はい。あの、町の皆さんの反対意見とかを聞いて、まさにその通りだと思うところがたくさんあるので、逆に賛成意見の方は、こういうのを踏まえた上で、これを上回るメリットがあるのか。こういうところが素敵だよって思って私たちの懸念が払しょくされるのかどうかって、そういうご意見もちょっと伺いたいと思いました。ありがとうございます。

滝口座長 では、賛成の2人のどちらか、今の質問に対して意見がありましたら答えてくれますか。

藤井議員 あの、賛成の1人です。で、今おっしゃることは、なぜ賛成したかというようなことでよろしいですか。私は細かいことを言ったらきりがありませんよってところで、大筋は賛成ですというところで、いろいろ意見があるのは承知してます。ただ、それはこれからでも十分議論できるでしょ、今日これと言ったらこれで最後ですってわけじゃないと思ってますね。だから、そういう意味ではいろいろ今後みんないろんなことで協議をしながらどんどん進めていけばいいと、というような解釈で賛成です。

滝口座長 どうぞ。

参加者F 御宿台のFといいますけれども。どうもご苦労様でございます。今ここです。ね、第1回目の議会報告会ってのが開かれました。私はですね、今からもう10年近く前になりますけれども、堀川議員をですね、推しまして町会議員に出させていただきました。そしてその時からですね、8年間堀川議員はですね、最初から議会条例を設けるべきだといって活躍されました。ところが当時の古くからおられる町会議員がですね、今までこれでやってきたんだからこれでいっぺよ、と。あんもそんなもんつくことねーじゃねーか、ってこういう意見だったんですね。ですけれども、野球でもゴルフでもサッカーでもそうですけども、一つの組織が動くのにはルールがなければ動かないんですよ。ですから、議会のルールである議会条例を決めることになんで反対するんだってことは実に不思議で仕方なかったんです。それから、堀川議員が情熱を傾けまして、8年間、80歳から88になるまで、このことに非常に力を入れてですね、それがやっとな実を結んで今回初めてこの議会報告会ってのが開かれたわけなんです。それで、当時はですね、議会条例がなかったのは、この町だけだったんです。ですから、議会っていうものがルールがなくて行なわれてたんですよ。で、長老の意見だけが聞かれて、そしてそれでもってやられてきたもんですから、もういつでも質問はたくさんするけれども、最後には必ず反対するっていう議員さんもおられました。そして、最後の議会、ここでもってですね、時の土井議長がですね、最後の一票を投じて、そして今日の議会のこの報告会が開かれたんですよ。町民っていうのはこの姿を望んでるんです。それをですね、これをこれまでやってきたんだからいっぺやと。そして最後の議会です、なんと時の議員がですね、堀川議員をお説教してるんですよ。年上の議員を押さえてですね。そんなことでもっていいんだろうかと。全然これは今日こういう報告会が開かれたってことは非常に議員さんにとっても、我々にとってもいいことだと思います。そして、最初は定員

50名とかってことだったんですね。この50名の参加でもって、町の意見がどうこうってことがわかるってことはあり得ないと思ひましてですね、急遽皆さんがよく理解されて、定員100名に増やしたって。本当なら定員なんてものはやらないほうがいいわけですね。まあそういうことが前段なんです。今回のこの学校の立地条件について私の意見ですけれども、1つお聞きしたいのは、1番の主眼は津波対策でしょうか。それとも古くなったからってことでしょうか。これは議員さんにお聞きしたいんですけれども。どっちが主なんでしょうか。津波対策でしょうか。よし、わかりました。もし津波対策であるならですね、...

滝口座長 すいません。あの、それはですね、先ほども言っているとおり我々執行権がないんですよ。それは町のそういう説明会とかを開いて、20人とか30人位しか集まんなくて、それもちよっとズッコケた話みたいなのがありますけれども、今の話は、執行部が我々に提案してきて、我々がどうでしょうっていうことなんで、我々が津波です、どうのこうのっていうのは、ちよっと今の今日では言えないですね。

(この中に議員が入っているんじゃないの。)

滝口座長 何がですか。

(議員がその中に。)

滝口座長 議員との協議は、全くないです。

(議員が入ってないんだね。)

滝口座長 議員は検討委員会には入った議員もいますね。今参加者Fさんのほうの話...

参加者F ちよっと私が発言中ですから、許可を得てから発言してもらったほうがいいと思いますけども。それでですね、私は考えるんですけれども、津波対策ってことはですね、多分一番大事なことなんだろうと思うんですね。人命を救助するっていうか、生徒さんたちを安全にやってきたということで。それでですね、これは私の私案なんですけどもね、もしそういうことであるならばですね、今のここの公民館、まして学校の建っているところに4階建ての鉄筋の校舎を作って、そこに移すということを考えてみていいんじゃないかと思います。で、今のですね、日本のですね、一番高いのは土地なんですよ。で、一番安いのは鉄なんですよ。ですから、ご存じのとおり六本木とか何とかっていうところに何十回建てってものができてますよね。それからスカイツリーもできてますよね。もし鉄が錆びるからどうでこうでっていうんだったら、スカイツリーはできないことになるんです。だけれども、今鉄の技術が進んでましてね、錆ってことに対してはですね、もう万全の対策をとれるんです。ですからスカイツリーができるわけなんですよ。そしたらですね、ここに例えば4階建てを作って、一番やっちゃいけないことは1階に人が入る事です。1階はですね、橋の橋脚と同じように建ってるだけの橋の脚にするんです。そこのところを駐車場に使うなりなんなりしてですね、2階から3階までを校舎になんなり使うんです。4階はですね、空間にしちゃうんです。そこでもって室内競技をやるとか、柔道をやるとか、そして、万一津波が来た時には、町の人たちがそこへ逃げてくるようにするわけです、避難場所に。今この町の中でもって逃げられる場所はありますか。マンションに逃げるとかなんとかいったって、ああいうところはですね、津波が来た時に、押し寄せてくるよりも引くときが怖いんです。ですから、

引くときにですね、橋の橋脚みたいな建物ならば、やられることは少なくなるわけです。ですから、大水が来ても橋脚は残りますよね。欄干がいつっちゃうんですよ。そういうことを考えますとですね、僕は議員さんたちをお願いしたいんですけどもね、町長がこういったからそれは反対だ、これは何だというよりも、代替案を出すってことを考えたらどうだろうなど。代替案のない提案というのは反対だけなんです。そういうことにですね、ぜひ留意されてですね、これからの町の頼みも、ぜひ進歩的な考え方を出していただいて、そしてこの町をですね、私昨日つるし雛見てきました。大勢の人が来てますね。それで、伊豆半島の河津桜ってところがありますけれども、あそこは河津桜と併設してですね、こっちでもつるし雛祭りもやってるんですよ。それと同じように勝浦がやってる。そうすると御宿もつるし雛もやろうじゃないか。それを盛り上げていくと。以前、北村議員さん、勝浦のつるし雛の会場で、ビッグひな祭りの会場でたった一人で御宿でもやっていますよって言ってPRしてた姿を私覚えている。みんなでもってそういうふうにして、住み良い御宿にしてくって、そういう議会活動をぜひやっていただきたいと思います。よろしくお願いします。

滝口座長 ありがとうございます。

田中副議長 ありがとうございます。今の参加者Fさんのお答えになるかどうかわかりませんが、小学校の校舎移転については先ほども申し上げましたように、教育の問題だけではなくて、やはり町全体の住民の防災の問題もあると思うんですね。例えばこの話はちょっと町長とお話ししたことがあったんですけど、現在の御宿小学校の体育館のところにちょっと高いところありますよね。一段高くなってるんです、体育館の周り。底もちょっと地上げして、高い高層、例えば3階、4階建てにして、1階については駐車場にするとか、何か別の防災関係のものに使ったり、あと2階、3階、4階ですか、それについては地域の人、もし災害が起きたときには地域の人たちが、そこに避難できるような場所もできるんじゃないかっていうことも、正式の場ではなかったんですけど、お話ししたこともあります。そういったことも含めて移転については、やっぱり地域の活性化もありますし、津波が心配であれば、当然今の小学校の周りの住民の方たちの防災、そういった人たちのことも考えなければいけないと思うんですね。そういったことを含めて、中学校に行くとか御宿小学校そのままとかっていう前に、そういうことを地域の住民の方たちと、話し合いをすべきじゃないかなということも申し上げました。以上です。

参加者G 須賀のGです。私は、単刀直入に皆さんにご相談を兼ねた意見を述べさしてもらいたいと思います。先ほど参加者Bさんがおっしゃった、皆さんが定員削減された中で、御宿町の住人から信託されて代表になられたですね。それでお聞きしたいんですけど、後ろの議員2名様も同時にお願いしたいんですけど、皆さんは小学校の生徒のことを考えて考え、今反対意見に聞こえるような結論出されたんですか。挙手してください。子どもさんを大事に考えた上での反対意見に聞こえるんです。子どもさんが嫌いなの。ただ意見が、町のほうからの意見に対して反発して反対意見をされたんですか。子どもさんを考えた上での反対意見か、挙手してください。子どもさんを考えて。私、強制してるんじゃないんだけど。

滝口座長 すいません。皆さんね、子どものこととか、町のことを思って...

参加者G じゃあ、私の意見として、皆さんは反対じゃないんだだけ、いえ、反対じゃないんだけど私も賛成の意見はあるんだけども反対した。反対多数で結論が出てしまったっていうことです。したらね、町が考えて、あなたたちに提示したことが気に入らなかったわけよね、結論的に。で、こういう書類があるんだ、証拠があるんだ、こういう書類を出されたんだ、という。どういうんですかね。盾にとって。で、私はこの意見には反対だ、絶対反対だと聞こえてしまうんですね。だから、頭脳明晰な皆さん、町民に選ばれた全部で8人の方、9人。意見を出し合って、町が言ってることに対して是か非か、それを検討して掛け合い、町とこうしたらどうなの、この意見に対しては私らは反対だけど、こうしたらどうです、私らの考えも一応受け入れてくれ。話し合いの、何か誰か言ったね、話し合いしたいとか言って。そういう場を設けるっていう気持ちがないわけ。

滝口座長 そういう気持ちはさらさらあるんですけど、それは執行部のほうに今度ご質問してください。我々個人的にはみんなそれぞれ考えを町長には伝えてます。伝えてるんですけど、こういう結果になるのはじゃあどういうことなんでしょうかねってことを、ちょっと考えていただきたい。

参加者G 伝えてるっていうことが、私らにはね、全然こう伝わってこないんだよ。だから、なにもかも議会で反対、賛成、反対です、結論が出ました。じゃあ、多数ですからもうこれは絶対この話は反対としか受け取れないの。

滝口座長 これは...

参加者G 町から相談があってもこれはダメですよ...

滝口座長 反対したからダメじゃなくて、反対したから執行部が、じゃどうしましょうかっていう協議を。はい。

参加者G 協議してどうなんのよ。

滝口座長 協議をしなきゃいけないんですよ。しなきゃいけないのはこちらから言う話ではないんですよ。

参加者G だから、お願いとしてまだ決定した事業、事項でないし、皆さんが再考して、いい頭皆さん持ってるんだから、話し合って、こういうお話もあるんだけどって、町の執行部に持っていったらどう。歩み寄るっていう気持ちがないの。(拍手)

石井議員 1月12日の前の話ですよ。12月、11月、10月の話だと思うんですよ、今の話は。要するに議決...

参加者G 1月、11月でも、町が1回ここでね説明会したわけよ。その結論が議会でだめだって反対したんですよ。

石井議員 あの、ここでの説明会の議事録等を読ませていただきました。そうしたものを一つ一つ丁寧に、実は相当時間をかけて、執行部、町長若しくは教育課長なんですけど質問をいたしました。で、多くのことが、それはあなたの、簡単に言いますとですね、あなたの考えですよ。ということで、ほとんど話し合いにならなかったというのが実態です。ですから、議長は、実は12月の冒頭の議会運営委員会、私もメンバーなんですけど、そこで何としても出したいと。でもこれでは議員の多くの方の賛成が得られないんじゃないやありませんか、いろんな課題がありましたんで。それが整理されてないってこと

で、先ほどからずっと説明されてきたと思いますけど、そういう課題がありましたので、これはもう少しきちんと、簡単に言いますと、議員の意見も聞いて検討をされたらいいんじゃないですかというお話を、議長自身もされました。私もそこにいました。でも、その時は町長は、ですからその時と全く同じものが1月12日に出されたっていうのが実態です。ですから、私たちも12月段階で一度町長がこの案を、じゃもう少し時間を置きますという話をされましたので、もっと、多分3月の定例会ではないかなっていう感じがしてたんですね。で、先ほど皆さんにお話ししましたとおりに、私の委員会でこれ以上あるんですけどね、資料、調査中だったんですね。で、資料について、検討委員会の会議録、それから図面などももらいましたので、それを見てどこに問題があるのかっていうことを明らかにさせて、それを町長に提出して、きちんと整理してもらおうと。いうことを考えたんですけども、全くそういう時間の余裕がなかったっていうのが実態です。

参加者G で、こういう会場を先行したっていうこと。

石井議員 先行したっていうことじゃなくて、町長が提案されて、まだ...

参加者G 天下を取ったようにこういう会を作って、報告会といいながら、皆さんの意見聞いてたら、参加者Bさんがさっき言ったみたいにほんとにね、何が何でも反対と、昔の議会と一緒に。古い議員さん達と。そういうのはこっちに伝わってくるよ。1つもね改善されたっていうね、新しい議員の意見とかね、全然伝わらないんですよ。天下を取ったように反対だ、反対だってね、今後どうしようと考えてるの。

滝口座長 ちょっとですね..

参加者G これは全部丸投げ、町に。

北村議員 よろしいですか。参加者Gさんありがとうございます。お気持ちは本当によくわかります。あの、そういうふうに対処のための反対だって、してるんだらうお前たちっていうことを、私も今もあの9年目になりますので、いろんな方から言われて参りました。で、私は、私も含めて反対のための反対をしている議員はここには1人もいないということを、私は断言します。ただ、それを皆さんにそう思ってくださいって、思われてしまっている方の誤解を解くというのはとても難しいなと思いつつながら、この9年間やってまいりました。で、まだその努力は半ばだと。工夫、努力もこれからだと思いつつありますが、その1つが今日の場合だと。少なくとも我々は思っています。やればやるほどそんなふうには見えないって、今日参加者Gさんにそう言われて、改めてその難しさに打ちひしがれ、半分打ちひしがれていますけど、でも半分は燃えています。なんとか、まだまだこれからだ、分かってもらいたいと思っています。以上です。

参加者G 中間議員だからって古い古参の議員に圧力かけられて、自分の思った意見が通せない、通らないっていうこと。そういうふうなかたちにしか聞こえないよ。

北村議員 私の今の話に、そういう要素が入っていたと自分では思わないんですけど、ほんとに議長が冒頭で言ってくくださったとおりに、この町の議会っていうのは、私が8年、9年前に、よそ者で一番若造で末席に加えさせていただきました。で、本当に相手にされないだろうな、俺なんか何にも意見なんか言わせてもらえないだろうなって思いましたけれども、全く逆でした。ほんとです、これは。信じていただきたい。ほんとです。
(拍手) 勝浦の議員さん、大多喜町の議員さん、いすみの議員さん、ほかの町の議員さ

ん、いろんな人に御宿の町って、議会はそういうところは、ほんとにすごいねって。うちの町じゃ考えられないよ、君みたいな人がね、ちゃんと。俺最初はもしかしたらそうかなって遠慮してたら、北村君、君みたいな人が、参加者Lさん、来ていらっしやいますけど、ほんとに背中押してくれて、もっともっと意見を言えってほんとに言ってくれました。ずっと応援してくれてます。そういう議会です。それだけは信じていただきたいと思います。(拍手)

参加者G わかりました。あのね、町のために考えて進んでいくようお願いしたい。それと、さっきの話から出たけど小中一貫校、小中一貫校、これは言葉のあやで、おそらく町長が言われたか町の執行部で話が出たのか。ニュアンス的にイメージが柔らかくいいと感じと私はそう感じたわけ。小中一貫校誤解されてるんじゃないですか。そういうことおっしゃってる方。ここの町で小中一貫校、どこへ進学校になるんですか。ただ、将来中学に入って行く、これから先も小学校から中学に入って行く同じお兄さん達のところにするという考え...

滝口座長 あの、すいません。申し訳ありません。時間も時間なんですけど、座長の判断で本当はこれで終わりなんですけど、議論もまだ手を挙げている人もいますんで、延長して...

参加者G じゃよろしく、今言ったことに対して反対意見、もう一遍皆さんで検討して話し合いして、町ともう一度仲良く話し合いをしてください。

滝口座長 仲良く話し合いをするつもりなんですけど、町のほうが、なかなか降りて来てくれないんです。次どうぞ。

参加者H 久保のHです。お世話様です。先ほど検討委員会の話出ましたけど、私も検討委員会の1人で、先月会議のほうに行っただけでまいりました。検討委員会の会議といひましてもですね、2月に1回やって、もう今私学校の役員やってるんですけども、もう3月で退任ということで、たった1回しかその会議に出ないということになります。また新たな次のPTAの会長さんが次の会議になるので、実際に本当に検討委員会、検討しているのかという会議の内容だと思います。また、執行部のほうのお話も出ましたけれども、その会議で、もう言っているのか、もう凶面のほうまで、もうできております、建物のほうの。次の会議では、なんだか建築士さんを入れて、話し合いを行うという話も聞いております。そんな中ですね、推進委員会の、まあ私中学校の役員、小学校の役員さんと保育園のほうの役員さんもいましたけども、まあ危険だという話がありました。もちろん地震もそうですけれども、今の現状ですと、国道沿いから入るというような話で、車危ないんじゃないという話がありました。で、歩道橋うんぬんいろいろ道を広げたらどうのこうのという話もありましたけども、執行部のほうは、もう警察のほうにそれも話ししてあって、道は広げられません、歩道橋はその先の今新町にあるので、できません、そういった感じですね、検討委員会というよりも、執行部の報告会という話だったと思います。議員さんなんかもいました。(拍手)で、先ほどの送迎のお話もありましたけども、雨。このご時世なので、ちょっとした部活の送り迎え、お父さんお母さん迎えに行ってるのが現状ですけれども、こないだ執行部の回答ですと、あくまでも入学の時に自転車か歩きか、その数しか見込んでないということで。なので雨が降っ

でもまあ徒歩は徒歩、自転車は自転車という数を、数で今の図面ができているというような話になっております。で、今回一回議会さんのほうで、一回ここで止まったということで、さらにまた議論ができるので、千円、二千円の犬小屋買うんじゃないですので、いろいろ意見があると思いますが、検討委員会もやっぱり1年2年3年出る方が検討委員会のメンバーになって。で、さらに浅間様の入口も削るという話もありましたので、地域住民の方もやっぱり交えて、協議のほうを進めていただけたらなと思います。以上です。(拍手)

滝口座長 ありがとうございます。時間も押してますんで、まだ発言してない方指しますんで、明瞭簡潔に、あ、どうぞ。

参加者 I 須賀の I といいます。今回の建て替えはですね、これは要するに60年の耐用年数が来るということと、自然災害ですか、地震とか津波とかそういう懸念があると。今それは、私一番懸念しているのはですね、やっぱり今少子高齢化で、もう子供さんがどんどん少なくなってきた、ほんとに子どもの命って大事ですよ。そういう意味でそう守るためには、こういう議論もいいんだけど、自然災害っていうのはいつ来るかわかんないですね。3. 11、それから熊本の地震とか、今年の1月1日に能登地震。そんなことをやっている議論はですね、するのは結構なんですけど、時間をかけてですね、議論している間に何が来るかわからないというような状態だと思うんですね、正直言って。で、私自分の経験でお話ししますが、3. 11の時に仙台で一番、仙台市で被害が大きかった荒浜っていうところがあるんですよ。皆さんテレビで見たと思うんですけど、私も実際自分の目で見て確かめたいと思って、翌年仙台に行って、荒浜地区ってところを見てきました。それがちょうどですね、あの、場所は、荒浜っていうのは今神奈川県に鶴沼ってところありますけど、仙台の鶴沼って言われてる、要するにある程度住宅地の大きな住宅地で、それ行ったんですけど、もう土台しか残ってないんですね。全てが何も無い。たまたま荒浜小学校っていうのがありまして、それがちょうど御宿と海の距離からいったらピッタリですね。で、その建物も御宿小学校の今建ってるのとほぼほぼ同じでした。で、その建物の皆さん学生、子どもさんがいたなら、屋上に一応避難したのか地元の方に聞いたんですけど、屋上に避難して、ヘリコプターでみんな助けてもらったと。それ皆さんテレビで多分見てると思うんですね。それ私自分の目で見て、ああ、こうなっちゃうかなと。だからこういう議論もいいんですけど、議論してる間にいつ災害が来るかわかりません。だからそういう意味で早くですね、こういうのは結論を出して欲しいと。それが私の生の意見です。(拍手)

滝口座長 ありがとうございます。そちらの方。

参加者 J 久保で2人の子供を育てています J と申します。皆さんにちょっと質問というかアレなんですけど、今度4月にこども園に入園式で入園する子どもの数、どのくらいいると思いますか。議員さんどのくらいだと思いますか。ピース。まあ近いです。もともと入園している子もいるんですけど、年少さんは1人。全部で4名の子しか入園しないんですね、4名5名。信じられますか。子どもが本当に少ないんです。あの、防災とか、あとお金がないからここにしか立てられないとか、そういった問題、そういった声が今ここでもたくさん出てますけども、私たち子育て世代の願いとしては、この学校を

建てるってせっかくこんなチャンスないと思って、魅力的な学校を建ててほしいとただただ思っていて、今結構全国でも子供が少ないけども教育移住とって、この学校に通わせたいから、私は北海道から沖縄に来たとか、東京から長野に引っ越してきた、この学校に通わせたいから、私は移住しましたって人たちがたくさんいて、成功しているところもたくさんあるんです。なので、何十億ってお金をかけて建てる、せっかく建てるこのチャンスなので、町長は、教育移住は一切考えてないって説明会で何度も言われてますけども、どうかももう一度考え直してほしいなって思っているし、成功している町や市に、どんどん視察に行っって、どうしたらこの御宿の環境や資源を生かして、生かした学校、魅力的な学校が建てられるかっていうのを、もう一度検討してほしいなと思っています。以上です。(拍手)

滝口座長 ありがとうございます。次どうぞ。

参加者K 御宿台のKと申します。まずあの今回のテーマが小学校の更新ってことだったんですけど、子育て世代の方がすごい少ないことに、入ってきてすごく驚きました。かなり衝撃を受けてます。ごめんなさい、自分の感想なんですけど、まず2つあります。まず反対された議員の方に伺いたいんですけど、他のどういうオプションがあるのかをちょっと明確に、予算も含めて出していただけるとわかりやすいかなと思って。例えばまあ御宿台に、あの、小学校作るならどれぐらいのね予算がかかってっていう、オプションを見てみたいですね。他の選択肢。で、中学校なら12億かかるんでしたっけ。約。それも含めて比べ、まあ予算もすごい大事だと思うんで比べれるかなと思うんで。その選択肢オプションをテーブルの上にちょっと、どういうのがあるのか、議員の方ちょっと見せていただきたいなっていうのが、反対された方への質問と、あと賛成された議員の方に、その移転した後で大問題になってるのが、その小学校が廃墟にどんどんなっていくっていう、今もう4個5個あるんでしたっけ、このちっちゃい町で。それをどう使うかのアイデアを、いいアイデアがもしございましたら伺いたいです。ね、ほんと古い廃墟の学校ばかりできてどうするのかなって正直思ってます。なんか、もっといいように使えるいいアイデア。もしあるなら、ぜひ伺いたいです。以上です。

土井議員 質問ありがとうございます。実は御宿小学校はどういう避難訓練をするっていうかは皆さんご存じでしょうか。まず津波が来た情報を聞いて、屋上に逃げることだそうです。これは14m。で、14mの高さがありますので、一旦は津波の高さによってですね、14mですから屋上に逃げれば何とかなるのかなということですね。で、そういう意味でも御宿小学校は完全とは言えません。その後に御宿中学校に避難して、さらに浅間山に逃げると。そんなようなですね、御宿小学校の計画は以前から聞いております。そして今の質問なんですけども、私はすごく主張しているのは、やっぱり子ども達の理想を考えると、命を考えたらですね、御宿台のあそこの業務用地がまだ空いてるんですね。まあ町長はその業務用地はですね、お金、土地はかかる、建物も新規でかかる。これだからとてもとても予算に見合わない、ということ言ってますけども、私その前の津波をですね、うちの岩手県ですから、親戚、縁者みんな津波にですね、やられました。そして亡くなった方もいっぱいいらっしゃいました。こんな現状を見た中で、やっぱり高い位置に学校は作るべきだなあと。みんな岩手県でも宮城県もですね、みんな高い位

置に作っているそうです。これも私もですね、そういう考えでいるわけですがけれども、今現存である中ですね、御宿台のその用地ですね、それを取得する用地を私は理想的にはここが一番いいなあとと思っているんですけれども、やっぱり予算の関係があると思います。その次にですね、既存であるのはですね、旧御宿高校ですね。あそこは35mの高さがあるんですけれども、さらに35mの高さの上に津波がきたらですね、すぐ脇にですね、少し小山があるんです。この山は大体50m位あるんです。ここに避難すれば命は助かるんじゃないかなあと。最後に布施小学校なんですけど、布施小学校は費用も何もかからないですよ。高さは50m近くありまして、さらに小学校を建てるぐらいですから、布施町民はですね、やっぱり我が子をいい場所に、学び舎で過ごしてもらいたいということで、土地の名前はですね、なんだがん台って作ってるやつで、名前はちょっと調べますけれども、大体なんだがん台って作っている公園ですね。公園はほとんどがいい場所なんです。一つの代名詞になっちゃうわけなんです。何々台。それがですね、布施小学校はそういう意味でなんだがん台になってまして、一番費用もかかなくて安全な場所っていう意味では、布施小なのかなあと。今おっしゃった費用とかはすぐに出せませんから、まあ一番かかるのは御宿台です。次に旧御宿高校だと思います。なんらかのリニューアルしないと使えませんから。で、最後に布施小学校が今まで使っていた教室ですから、一番費用がかかなくて、安全な場所だなど。先ほど参加者Dさんも言っていましたけども、ただいろんな問題があると思います。それはやっぱり町中からちょっと離れてるんだよと。こういうデメリットはあるんです。デメリットと、全部いいことはですね、それは一番いいんですけども、なかなか全部何を一番優先して捉えるかっていうとなると、私はやっぱり子ども達の命と安全というか、これを我々は優先すべきではないかなと。そういうような考えで、今の答えで大丈夫でしょうか。すみません。

藤井議員 まず、先ほど参加者Eさんから、なんで賛成したんだというところのお話がありました。で、私、ちょっと言い忘れてまして、もう一度チャンス、発言のチャンスをいただけないかなと思っているところがあります。私は一番先ほどの父兄さんに言いたいのは、私は賛成を民意をもって議会に臨んでいるつもりでございます。私が議員になるのは、私が議員になりたくてというよりも、皆さんの意見なりを議会に持っていくというのが、私の一番考えているところでありまして。というわけで、私はアンケートも民意であると先ほど申し上げましたが、私は自分の周りにいる人達の意見も、それなりの民意だというふうに考えております。この辺でよろしいでしょうか。さっきの話。もう一つの参加者Kの方。賛成の意見で、跡、何を考えているんだというところだと思います。実は私、今度の二期目の議員になりまして、町有地活用委員会の委員長になっております。一度町有地をいかにしたらいいかというところで、会議がもたれました。その後町長さん、招集っていうか話し合いがなくて、これ、じゃ町有地いっぱいあるのにどうするのっていうようなところは、先ほどの質問者の方が一番心配されていることだと思います。その辺は町有地活用委員会などが町と話し合いをしながらどうしたらいいの、道の駅にしたらいいの、どっかに貸したらいいの、売ったらいいのというようなことは、今後ずっと引き続き続けていくべきだというふうに思っています。そういうのも

含めまして、賛成というところであります。よろしいですか。

参加者K できればなんか、藤井さんご自身の何かいいアイデアとかってございますか。

藤井議員 はい。私のアイデアとすれば、私すぐそばに住んでまして、あの、一番いい立地だから、一番有利な町にとっていいことを考えるべきだというふうに思っています。具体的にお前何を考えてるのっていうと、もう少し時間が欲しいなど。ただ、町有地活用委員会は私委員長ですから、粛々と進めていって皆さんでこういうのがいいんじゃないかっていうことを聞きながら、そちらのほうに自分の意見としてもっていきたいというふうに考えております。

参加者L すいません。岩和田のLです。昨年の9月まで皆さんのご理解とご支援をいただいて、議員をしておった一人でございます。いろいろご意見あってですね、やはり議員一人一人の本質は、皆さんの意見を議会に反映するというのが基本で、皆さん議員になってると思うんですよね。ただし、全町民のね、6千7千の意見を一つにしてってわけにはいかないんで、自分を応援してくれた人達はせめて、その人たちに対しては意見を聞き、そしてああこういう意見もあるんだな、こういう意見もあるんだな、それに則って自分の意見はどうなんだろう。そして執行部とどうやったら車の両輪のようにいけるんだろうかということですね。いろいろ問題はいっぱいあって、それぞれやってきましたけど、古い議員がああだこうだで、新しい議員は何も言えないってことはまったくありません、まったくありません。それはですね、昭和62年、平成のですね10年位まで古い議員がいて、私なんか62年で初めて入った。その時は何言ってんだ、お前らお茶を汲んでりゃいいんだ、なんていうようなね、環境でしたけど、今はもう20年、30年前からね、そんなのありません。ですから、みんな何期生でも一期生でもね、平等なんですね。同じなんです、同じ町民から選ばれてきた代表者ですから。ですから、北村議員先ほど言っていたいただきましたけどね、ほんとに意見があるならどんどん言いなよと。そしてコミュニケーションをとってやってきた。で、この学校問題についてもですね、3月の議会で承認されてるという意見もありましたけど、それは、いずれは作らなければならない、それによって計画を立てることにしましては賛成しますよと。小学校じゃあどうやったら、どのようにやっていくのかということに関しては、検討委員会を設立して、そこで検討していきますと。だけど、先ほど委員の方に選ばれたって言うけど、3月に1回やったと。議員からも選ばれた人がいましたけど、全然無し。やろうと執行部の案が示されて、もうほかの案に対しては聞く耳を持たずというような状況で、この学校建設ありきでやってきたっていうのが、わたしの印象で、その時に最終的にはですね、あなたの意見と私の意見は違いますと。そういうあれだったんですよ。協議をしている、検討している、この問題はなんですか、これはどうするんですか。最終的にはね、首長町長はですね、あなたの考えと私の考えは違いますから関係ないですと。それはね、ちょっとひどいですよね。だけどそれはそれとして協議をしてなかったわけじゃないんです。いろんな方。保育園建設の時もそうですよ。もう、ここは低いから危ない。小学生だったら声をかけて連れて行くんだけど、保育園は連れて行くわけにはいかないでしょ。赤ちゃんもいればね、1歳2歳の子もいる。おんぶしていかなきゃいけない、だっこしなきゃいけない。じゃどうすんだ、その時に。どこに逃げるんですか。

川の側、津波が来た、どこに逃げるんですかってことですよ。だから小学校予定地だった御宿台、そこに保育園を建設したわけですよ。そうやって幼い子、そういう子どもを預かってる期間がですね、なんかあった時には安全な場所にと、いうのは絶対必要だということ、私たちその当時の議員はですね、市原のほうに素晴らしい保育園があるということで視察に行って、なるほどこういう施設はいいねということ、もうそのときはすぐ二つ返事で皆さん賛成してですね、で、用地として保育園用地もありました。けどそこじゃ狭い、これじゃあどうしようもないと。当たり前なんです。あそこに住む、御宿台に住む子ども達を保育する場所として確保した場所ですから、御宿の子ども全体を受け入れるには狭すぎる。で、小学校はやはり御宿台の小学生を、そこに建てて統一するという土地ですから、そこなら大丈夫だよということ、そこに決定したわけ。それで今回の町長は、あくまでもいろいろな検討課題があった中で、じゃあどう建てるんですかと。7年9年までに建てるんですかと。それはですね、津波が怖いからだと。災害が怖いからこの場所からほかに移さなきゃいけない。そういうことだったでしょう。じゃあ今ある学校なんか安全な場所にする方法がないんですかと、そういう意見もね、喧々諤々としたんですよ。けどさっきも申したとおり、そういう意見を言うんですね、やはり町長はあなたの考えと私の考えと違いますと。そう言われちゃったら、次にものを言って次に進めようという気にならない。ですから、そうだからって言って、拒否したり、反対したりしたわけじゃなくて、やっぱり教育課の課長や職員に対して、協議をしましょうよ、こういう話もしましょうよっていうこと、学校視察に行って、私なんか教育民生をですね、全部で4期、5期かな、やらしてもらいましたから、小学校に行けば校長先生をはじめ先生方とどこをどうしてもらいたいですかって協議を重ねて、そして執行部に予算提案をしてですね、そして悪いところは直してもらってっていうようなね、もう議員と執行部はほんとに喧々諤々とやってきたんですよ。ですから、今の議員さん達もそうです。ですから今ここでね、即答を求められてもですね、それはね、決定権があるわけじゃないし、執行権があるわけじゃないからね。ただ今回は、こういう形で、できるだけ多くの自分を支持してくれた町民だけじゃなくて、多くの人たちのご意見を聞き、またみんなしてこういう活動してますよ、こういう協議をしましたとよっていう報告でございます。ですから、とつてもね、今いる前にいる10人の議員さんはね、私なんかの時よりもね、進んでるし町のことを思ってるというふうに思ってます。ですから、ぜひこの10名の議員さんに、これからも町とそれから議会と一生懸命やってくださいよ。私たちの意見も千差万別ですけど、聞き入れてくださいよ、そして検討してくださいよということ、この会が終わったら私は、議員さん達がこれからも一生懸命にやってくれると信じております。ですから、いろいろ言っていたいでですね、私たちの時にもですね、何回か町民とお茶を飲みながら話し合いを通してやったことがありますけど、やっぱり出てくる方はですね、ご年配の方で一部の方で、今日見たらこんなに天候も悪いのに来ていただいてですね...

滝口座長 あ、すいません。よろしいですか。

参加者L 長くなって申し訳ないけど、そんなわけで議員さん一生懸命やっていますからご心配なくお任せしていただきたいと思います。(拍手)

滝口座長 ありがとうございます。すいません。最後にですね、一人。

参加者M 立つと緊張しちゃうので座らせてください。実谷に住んでいるMです。下の子は小学校3年生で布施小に行ってます。で、ここに子育ての世代がいっぱい来るのかなと思ったらそうではなくて、こんなふうにみんな雨の中、わざわざ子どもの事とか学校の事考えて、ね、泣いちゃうそう。皆さんがその一生懸命考えて集まってくださってることがすごく嬉しくしています。私も伊藤さんとはお話ししたこともあるし、子どものことを一生懸命考えてくださっている方だなんて知ってるんです。大好きなんです。だけどうやってなんだろう、議員さんがね、町長の足を引っ張るなあみたいな、反対するんだなあっていうふうにやっぱり思っちゃうかもしれないんですけど、子育て世代の目線で言わせてもらったら、中学校ってほんとにいくつか、小学生にとってみれば問題があるんです。まずさっき言ってた送迎なんかは、雨の日ローソンの前で大渋滞をしていて、今中学生は98人とか100人位なんですけど、大渋滞でなかなか入れないし出れないしってところに、小学生200人位いるんです。なので100人が300人になって、で送迎になった場合にどうするのってことを町長さんに1年位前に聞いたら、検討しますって言うので、どうなったかなあと思ったら熟考、よく考えましたって言って、やり方としてはその浅間様を削って、広くして出入りできるようにするってことなんですけど、じゃあそれは元々ハザードだから、崖崩れっていうか土砂崩れがおきて、子ども大丈夫かなあ心配ですって言うても、僕はよく考えたからってことで、専門家には聞いてないってことだったので、それは嫌なんですよね、子どもがわざわざ行って、土砂崩れに遭うような学校をやってほしいと思えないし、なので新しい小学校にしてもらわないと今行ってる子供たち、布施の子も合併したらせかく山にいるのに、御宿小に行くことになるんです。でも、そこで津波とか崩れちゃうっていうのがあると思ったら心配なので、親たちはそれは早く更新してほしいっていうのもあるんだけど、だったらそこだけプレハブを布施小に作って、ちょっと教室増やしてあげて、送迎してあげて、なんて言うんだろ、まず災害に対する今の手当をしてあげることと、後はさっき言ってたように、ビジョンを今中学生のことを言うてたんですけど、中学生だと例えばそうだなあ、小学生の時間1時間は40何分で、中学生もっと長いので、チャイムの時間が違うんです。で、中学生の受験生もいるから困るんじゃないかとか。よく考えるといろいろあって、子どもの遊具、小学生の遊具を置く場所がないから、コの字になっているガラス張りの中庭に遊具を並べるよって言うんですけど、そうすると割れちゃうんじゃないかなとか、お勉強中にコの字になっている中学生のところに、休み時間が入った子供たちがわあってして、邪魔にならないのかなあとか、なんていうかその、本当の中学生の暮らしをみんなが見てなくて、けど、子ども大事って思ってるけど、中学生は困るんじゃないかなって言うふうには思うんです。そうですね、中学校はそんな感じで、御宿小学校の校長先生が検討委員会では、明らかに御宿小を中学校に建てると言うのは、もう狭くて小学生はかえってそこは辛いんじゃないかっていう校長先生の意見もありました。そうですね、それも町長さんは聞いているけれども、全部自分だけで検討して、専門家に建築に関する方とかそういう人の動線と空間とか、そういうのを何も相談しないんだって言うのがわかると、ちょっと賛成できないなって親は思うし、議員さ

んは思ってくれてるのだとすれば、町長さんが悪いわけじゃないんだけど、もうちょっところ、相談、広い目で見てもらえたらなと思ったりしました。で、いすみ市は移住が増えて、それがオーガニック給食で全国的に初めてやってるからとか、一宮もオリンピックのサーフィン会場になって移住者が増えたりとか、どんどん増えてきてる中で、まあ御宿はさっき言ったように子どもが少なくて、今こども園に行っている2歳のクラスは6人ぐらいで、1歳のクラスは4、5人なんです。で、少なすぎてかわいそうだし、いすみに行けばオーガニックだからって言って、もう4、5人の子がもういすみに行こうかなって数人、言い始めてるんです。そうすると残った子が2、3人になります。御宿の広報の表紙に成人を祝う会って、ずらっといるけど、もうあと10何年15年とかしたら、そこに載る子は1人2人とか載らなくなっちゃうかもしれない。その15年後、20年後はそうなるかもしれないのを食い止められるのは、教育移住とか、小学校のビジョンを持って、特色ある教育だと思うんです。でも既に御宿小では磯遊びもなぎさマラソンもやってるし、布施小は田んぼがあるから、布施っ子田んぼなんてやってるので、どうせ合併するんだったら、もう生きる力を育てる里山里海小学校っていうのが外房にあるらしいよーって噂になって、来てくれるように。いきなり来れないだろうから、山村留学で1学期だけでもおいでよとか、そんなふうにか、つながりを持てるようになっていうふうな考えを子育て世代は言っていて、で、きっとここにいらして下さっている方も、子どもの現状を知ったら、もっといろんなアイデアを出して、例えば多世代で年配の方と一緒に子ども達が何か作るとか、いろいろあるんだろうと思うので、こういう場で、お互いが子供の世代、子育て世代、働く世代と、あとシニアの方が、現状を分かりあって何かを生み出せる機会を、こんなふうにかこれからも、もっていただけたら嬉しいなと思います。ありがとうございます。(拍手)

5. 閉会

滝口座長 よろしいですかね。以上で、もう30分も経過しましたんで、非常に活発な意見を出していただき、つたない座長ではありましたが、初めてのことで、なかなか切るタイミングだとか、それに対しての回答だとか、短い時間でなかなかできないとは思ったんですけど、僕も小さな会社ですけど、親から引き継いで苦しいときもありましたけれども、何とかここまで生き延びてやってきて、今まちづくりのために議会に上がって議長まできてるわけでございます。一番よく思うのが、議会が反対してる、議会が反対してる、だから悪い。そのことはすごく嫌いなんです。何か理由があるから反対してるわけで、どこにでも、じゃあ、あなたはどういうふうにか思うんだと言われれば、どこにでも出ていくつもりですし、この会を開いたこと自体も否定されると、もうほんとはですね、普通の人ってやる気なくすんですよ。僕はガチンコなんで、さらにやる気になって、1か月に1回でもやってもいいかなみたいなことを言っちゃうと(拍手)また、こちら怒られちゃうんですね。最低2回はどういう格好でも、意見交換会とかやるつもりではいます。そのほかに、若い世代と40代まで、こないだも役所で、休みの日にですね、19人来てくれたんですけど、高校生からワークショップってやつも、意見交換会、テーブルごとに全員の議員が参加してくれました。付き合っ。普通ね、やりたくない

んですよ、はっきり言って。もう目に見えてるんで、なかなか僕らの真意が伝わらない。子どものこと、僕も娘2人で、今度大学生2人ですけど、一番お金かかる時なんですけど、やっぱりがむしゃらにですね、この御宿で生まれ育ったことを誇りに思ってもらって東京に出て、Uターンしてもらいたいなどかって思ってるわけです。で、僕は御宿小学校で御宿小学校びいきなんで、あの場所で何が悪いんだ、リノベして当面様子見ればいいじゃないかっていう、正直ぶっちゃけそうなんです。で、布施小学校も僕そういう意味で残したいんです。御宿町立として。いろんな複眼的な考え方として、単眼的な考え方じゃなくて、お金かかるんだったら布施小学校残せばいいじゃないかみたいなね。それまでは岩小の何か統合の時は、やっぱり1クラス、1桁になってきたら、子どものために良くないんじゃないかと思ったけど、布施小学校の子ってすごい優秀な子も、うちの娘と同じ子なんかも本当に進学校で1番取ってるし、すごく少ない人数でも、やっぱりやり方によって、素晴らしんだなっていうのを見せてくれたというか実践されたんで、できればこの機会に箱物ありき、お金がある所だったらいいんですけど、先ほど誰かも言ってましたけど、小中学校一貫は、詰め込む方式はやめたほうがいいです。絶対にそれは。東京の僕の知り合いのIT系の社長も言ってました。中高は一環になったとしても、小中の同居はやめたほうがいい。子どものためによくない。で、それだったら山村留学で、少ない人数でお金かかってもいいっていうんだったら、ぜひ布施小学校残したい、あの、それ、個人的な意見ですよ。僕は執行部じゃないんで、代案は出せないんです。政策提言は出そうと思ってるんですけど、代案は出せないですよ。残念ながら。それ、ガチンコで役所と勝負するような期間じゃないんで。それは町長のリーダーシップと、それを補佐する取締役ですよ、会社で言ったら。議員が別に。何か問題があるから反対したんであって、99%議案は通ってるんですよ。で、ここの議案は通せないっていうことは、何か問題がある。で、それは我々も責任があるかも知んないけれど、執行部に多いに責任があると僕は感じてますんで、その辺、身近な方特にハッパかけてくれて、議会とうまくやれみたいなこと言っていただけたらなって思っています。すいません、長くなっちゃって。議会で今しゃべれないんでしゃべっちゃいました。申し訳ありませんが、また開催しますんで、この辺でお開きとさせていただきます。今日は、本当にありがとうございました。(拍手)

田中司会者 ありがとうございました。時間30分以上超過しましたが、皆さんにご協力いただきまして、活発な意見を出していただくことがきました。これにて議会報告会を終了いたします。皆さんに、受付でお渡ししたと思うんですが、このアンケート、よろしかったら記載の上お渡ししたところを出していただけると幸いです。ありがとうございました。足元大変悪くなっています。どうぞお気をつけてお帰りください。